期連一際に大風動は云る七日永野 高相か等内上奏師は可を仰ぎ十一

以電話」海軍昭和十一年度記

海軍大將 高橋

古古

和 子僧 加藤 隆義

補艦政本部長

補駐滿海軍部司令官

職権は日本側と突の前継を受けた。なくて としなつてるたところ、日産適間を脱れていた。かくて としなつてるたところ、日産適間を受けた。 おいっという 日産適間

御助(功) 十二日検砂の爲來社 可ノ内操氏 (本財曜記商工機助

天地支黄 「証子獲行だ、短疑だ、不言

お耳び断然その通

がこの結果議職政府融降は日義通一期されること」なった

やヤムベラに到着題もにガレット

通商価値相と問題して日本創集報」ものと記込んでふるか、一方来事

科庁總領事は新納領事同形十一日である、ガレット通商條約相は提

楽組月前職にこゝ並月間を要する

「キャムペラ十一日同盟」日景通 商交渉はいよし、近く解決を見る

濠洲閣議に附議

商ががはいよく

内行につき説明した、ガレット通一五月より復施される新規院は十一

兼將河西湖之

和底順更非常司令官 小林家之助 海派少將 期田 政一

日内命發せら

日正式に翻攻されるが今次の大

の絵を観した、十二月

尚德 補吳鎮守府司令長官 廣准大宮兼將宮守藏太貞

補第三艦隊司令長官

同及川士

及川古志郎

相無獨 安港部司令官 犯 職職司令官

敬太郎

梅軍一航亭職條司令官

依然展開困難の模樣

川越大使から外務省への報告

無技術資料之具

推荐

一致扱い主なるものはなの如し

補軍事参議官 (※無)

補佐世保鎮守府司合長 無犯要訴問司令官 無犯要訴問司令官 幸一

爺第一艦隊司令長官 補聯合艦隊司令長官

海軍中將 米內

補橫須賀鎭守府司令長

二郎

中 納那十二艘龍河令官第一水雷鹿縣司令官第一水雷鹿縣司令官四次。 超交叉 医皮肤 医高叶胺 医氯基 医世界高叶胺 医氯基

【東京電話】十日の川越帯帯の徳 | 誰るが如き態度を示し、日支交渉 |

り、又交渉當事者を舌境に陥れあるも一部に於ては強便論もあ

次字にすべての秘密主義も監察
對支秘部外交艦機連合は宜し

になったら自身がつく

また!~上海で那人選集、不

は未だ公正なく前後の事情か分 原が電話 又上海に野磯したれ

しないが、外務関局は知何なる 派威事性に関し十一日夜外務省 テ日排の那支き

置加が十一日正午過ぎ上海に入港 **荷開敷路標準南里七七號日本約理「總鑑、上廊總監備等と共に午後十七九ので、午後六時頃日連に来た」島養察署長等は下部局警察田島嗣** 日同盟)高密安に氏は家島の笠 星服から出て来た支那人のため郷1年季事件(後年) 「た事十」総魯里の入口にさし懸った際実如

り職部で銀行用金の野便間全に移 動する風勢器だしく、最近部肪利 「問題が喧しく解へられる折柄、 「東京市話」今回の時間発は軽行 際信者と打合せをなしつつあるが 人配省ではその必然性に最み内々

以下げ、

薬を買ひに行くと

ろでござんす

帯下の下りる季節

ツンと鼻を衝く子宮に御注意

婦人に害のある

世繪 一作

13

冬の乾燥カラッ風

「なに、東を買ひにこ



解決に就ては之が協定化を担否す 於て殿川間に同感してゐた諸勝穀 個問語語学従来の抗菌に 省から青森 渡りの磨撃を、突壁に取出して足薬山からもらつておいた炯炯陀

つてやつと遺尾してるた場合までの知事が一選曲もか 術務省の能復をつかまへ

戦や戦の顔なときより仙殿があっ間に手早く治せ同じで危殿に辿りはない、吹ろ下人妻は夫の知らぬ。 温い顧鮮は光解するから散の帰れ處女は秘かに

て解除くときは子宮は帰れてゐる 重症でも一日

一般にも入るし、膨脹に入つて歌の ければ子宮病は心配でない と来して登録の歌歌は音を除つて るのは怖しい。 肝心度の手當がよたに子宮の歌歌渓夜力が難り除き は終えないしな迷の気機を照られ たに子宮の歌歌渓夜力が難り除き は終えないしな迷の気機を照られ

とこと云つて海岸はないすうで、から応ぶないと云へる。月経の田とこと云つて海岸はないすうで、から応ぶないと云へる。月経の田とこと云つて海岸はないすうで、から応ぶないと云へる。月経の田とこと云つて海岸はない

を衝く臭味があり健康の母よりお かく気によく喜せたら病なべき と

らないかる解る。急に量は殖えな上の健康能です。一歩手當を渡る

ある、他して支那門の間度崇似 態度が軟化したとの。確認に基くい完成しついあること能に日本館に めた後、国際進展の見込みがつ れた軍事宣議の結果對日の原除。

参銃ピケース發見

要統一権が機能された、日下之を 【上海十一日间盟】高層氏疫療者 部局順山蘇祭署に送つて指牧権

銭ならあたしがちやんと用意して 減を取出すと、あわてゝ男の手へ おころは他の間からいくらかの 及びませぬ。お

く男を見渡りながら、おころはほ でさらだ。この間にちつとも強く 飛びに飛んで行

解 龍 に 郷 へ 優 ら ぬ 坐 優 で荷る婦人は発進動からら。 解 龍 に 郷 へ 優 ら ぬ 坐 優 で荷る婦人は発進動からら。 単一など支援樹田来ぬ郷もある。いざ 遅にも抗変の出やう智はない、郷がかなど支援樹田来ぬ郷もある。いざ 遅にも抗変の出やう智はない、郷かなど支援樹田来ぬ郷もある。 さん こぶばが 順々するから 選女にも人など支援樹田来ぬ郷もある。 着る数には外に流れ

笠置丸乘組わが船員

又も上海で狙撃さる 左胸部に貫通銃創を受けて逐に絶命

犯人は支那青年 呈特派員發電上海十一日赤

偏民病院に運び予賞を加へたが、午後九時途に絶命した、鷹鷹で置記さると歌声に含むで行中、背後から迫つた廿一歳位の支那人に拳銃で狙撃され左胸部に貫通銃側を受け直ち船笠貰丸乗組機關部倉庫班高瀬安治氏(豊)は十一日午後八時四十五分揚樹浦桃源里路を

と、近年のでは、なほ扱人はその最より深ま行方を噂ました。工書員商業家では直に五常線を変づて協議中であるとは、不良のないでは、なほ扱人はその最より深まされ、左側部に即通総議を受けるの場に協議、直に配成実践に増き込まれたが千後几時時級原型に於て一支那人のため発統を具て邪寒され、左側部に即通総議を受けるの場には別、直に配成実践に含まれたが千後九時代の財産の財産の財産の財産の財産の財産の財産の財産の財産の財産の財産の財産の対策を表現していません。 陸戦隊出動し嚴戒 ――『正海十二日同盟』十二日を必須開助新華中郷生の第に建した上海

、近に彼人厳愛中、別近一帯は日下版並たる蹇威が加へられてゐる、固に被害難高徹比は配難長野縣北佐久郡曆大升村生れで馭住所近に収入職愛中、別近一帯は日下版並たる蹇威が加へられてゐる、固て『詩書語』には配難長野縣北佐久郡曆大升村生れで馭住所

海十一日周盟一丈も形人役官軍作統裁に我無領事的警察では極度に緊張し、工部局無数と連絡して現意附近に軍治総を吸り

海外 兩當局は强硬

い際、かくる事性の可能に重要 第によっては月上館階間に出 開し海事者には米だ公常はな 等他に對する責任協問が未だ決せ 延生し、形人の生命財産に軍大な る不安を興へついあるは、従来の す、日文交渉も支那側の不誠意に一門明を座つて何分の質求を講せん一度は頭る温爽である て事態の成行を傾めて重視し詳細 交演権の上に順る遺憾であるとし より容妙に辿脱を見ざる際和國々

同行者が當時の狀況を語る

|東代から原立支那各地に相吹いで||【上海十一日示星特派自發】被害。者と行動を共にしてゐた神迹の女||中间部にサチさん(**)は混る

犯人は支那作業服を 着に痩せた青年

機論帰版しつ」あり外務試局の

を帰した長女親国高等小學校一

してその掲に並ぎ伏し、その際にさん(四)にが報を得へると愕然と

左肩下から第五第六肋骨の鎖を縫 繋されたことが側頭した、扇丸は 極視の結果等鍵を以て背後から狙 代された高剛安治氏は耐圧病院で 病院に安置に帰民 我方の提案を

とはたのして自ちいたましく制子 視を行ふことになつた。更に詳細検

上海十一 不神が件級生は鍵膜眩としても、は外田野参説指伸の下に終白を 急流して犯人の理論と繋切に常合を 急流して犯人の理論と繋切に常 【上流十一日同盟】上流帶加短號

◇祖麟氏(中脳院参議)十一日府内照倫町一丁目四五ノ三號へ移 以)十三日午後一時截江航道在長)十三日午後一時截江航道在

するこかアありやすめえるあつし "はッはッは。そんなにびつくり やアお削さんが、さりき定言兄イ

◇生田近三郎氏(多師島滋遊社長)

聴つたから、用に事寄せて出て派

-



九番)へ振善か、ハガキで代

郵貯利下げに對する

洪兩國も承認

のエチオピア併合

- 外科チアノ氏、ハンガリー外相 ピヤ島帝エマヌエル三世第八十九 ツク照上はイタリー園能にエチオ ストリア政府はイタリー政府のエ 何の麗生を続して杯を察げ、オー

月夜ジエンブルンの古城にイタリ ア首相シュシュニック博士は十一【ウイン十一日同盟】 オーストリ

一般向を催したが、 離上シュシュニ

チオピア情國併合を承認すること

を推ったに御路勘差前の手吹きを

【東京電話】政府は外交位大船間

樞府に御諮詢

外交重大問題

の態度に出て何等交換は領

二日に 輕症の治療は 専門子宮藥の發明 一回氣樂に濟

崇る帯下の根を絶つ

に薬を放着せ浴びる
器に伏く祟っと果れ年ら昨年の別しても浴しむ冷雨はよくよ

福川清美

んであて不関版に関れた、

|ビュトのようなにさらは行か るから怖しい。禄王處々の病院で一会に出来ない、さりとて母数なら、冷酸は実験して衰退しつかなくな

単葉でないと王宮橋の音線は完 失敗は成功の因と云ふが帯下の

帶下

の坐薬に

これより上等なし 完全づくめ

醫學博士

木

村

この失敗をというにさらは行かるから極しい。最近處々の疾敗をとれる例くかといるにさらは行かるから極しい。最近處々の疾眈を全に世界なし、ことして、それで、ことして、

Ŋ

たんだが、もつとばかり気になっ やア肝質の、薬を買ふ暖のほ合せ 「どうかさうしておくんなさい。」 、困つたことに

に削の強了へと飛い **解性院室大帝** #

き合せた。 を施か小能でよかつた。あんな男に「して、薬を買ひに行くところでごだかったかったのに。……でも大」しところから、ひと思びに飛び田 大それた異似をしようとは、既つして見ても、どうに 一流担男か、まさかあたしに、あんな一家を吹ませたり、背をさすった ったのだらら。あいつが、あの器 あたしと定音つあんと二人切り。 「あ」、何んといふだいところだったでござんせらが、 げ延びて來たが、それでも二三丁 の家を脱け出して来たおころは、 がされるとも知らずに、あんな甘 「そんならあすこにおいでだつた 何んて間扱 い急病で、七葉八倒の窓しみ。…」 で、七個人倒の。 であいっ お削さんでもみておくん なに速いか知れませれら 点が付いた。女の足より男の方が つさらだ。そいつアいょところへ ここぞ近くの要国 も、あたしが直 らおいらが襲屋 男の方が、どん つて来て下さい ンやア一類も遊 あの頃い家に 楽も間に合つ 定兄イが急病 も職の見えな

幸ひに晝休みで生徒は無事

勅語謄本は校長が道廳へ奉遷申上ぐ

上設十六英五千国を投じて竣工したものである

損害は約廿萬圓 火廻り早く二百六十二坪全焼

一瞬の間に対極に帰した(質異は火事の重集)

朝鮮體協明朗化す

竹内氏退き近く優秀な後任を任命する

スポ

ーツ朝鮮ニの發達へ

金本形址資放資源長当る

死になった要を見て泣く者もあり いぢらしい光景である

情報から手近に見える猛火を指述。
高松公中越火と同時に南部所は認 見童の安否を 氣遣つた總督

進い中で天の如く誰つた 「創題の通り生徒の勘呼をやつ

上 口格訓学は網路は常品等小型

村上訓導談

ない筈

充實を誇り良家の子弟養育 視察團は必ず同校へ

はどうかと模様を楽し直もに調査性とうなったか、生徒婦の安否 で配した動物官は地質に動き調金 都線を報告した 火の氣は

代表的普通學校

らい三、信章、校園の三人

型鱼關丸6二、三亞聯加黎は大聯 大田、京城、平區、安東、上二川 本浦の七瞬で翻してるが将金は式 本る十六日から試施する開発に済 主要七驃で十 六日から符賢

等(世人門」上段一四、下一

六十二坪、現年運動は十二百八一金町の散鋼板であつた、な任何校 要校に専務したもので校会三百「校を破綻する世間となってたた映 要校に専務したもので校会三百「校を破綻する世間となってたた映 正五年三月四日辞可、同四月一 東京の子弟を収録して明り、内垣 正五年三月四日辞可、同四月一 東京の子弟を収録して明り、内垣

《三尊(七十四個) 土得八十錢、下沒 1 圓 ヂラ

> 毎日のお食膳に 秋晴れの行樂に

當る十一

一月十二日2三日間午後六時開演

桃屋の桃とびわの跡

〇白狗號競技用

謝

近火御見舞

淑明女子高等

學

小審な出火

の・晩・今

火の氣のない教具室

淡水▲九時大台唱(東)日比 那杉連▲七昧三十分心所開 柴重記含▲六時二五分(東) 六時重記刷(名)金の域普 酸磷苗非上清人所長明

スケート。靴像質開始

○ 野保安焼では最近官内の映 親分共を退治

> **「外簡業新報商店課長** 外所業新根綱糾局長

0 來

利歡

生を見なとばかりに暴れ廻る不良 答はことの親分だ』と無料け入場 り、耐見大事検束、間に国す 跳渓に、司法保と協力、陽重収 福棚 遊覧だと拒絶されると、 はいいのでは、一般の家住を組んで「ん

接京城 两工 年

會府京商 城工

所廳局課

四月 (土曜日) 午後一時から本 ・ 「中国」 (土曜日) 午前八時から日に ・ 「日 (日曜日) 午前八時から日に ・ 「中国」 (土曜日) 午前八時から日に

こことになった 城大で繪畵展

は間をこわさの頂浦樂

明で二名殉職

海軍機行方不

■ 2011年までも全角有名(本土は、たけま、部族を前それが、一貫の 一致・研究・は、同様に関連的では、一致・研究・地方は、一貫の を観して、同様に関連的では、一致・地域の一致・地域の一致・地域の一致・さらに必要なこと を関連するとでは、できる。 一致・対して、のでは、では、は、のでは、できる。 を表して、同様に関連のでは、できる。 を表して、同様に関連のでは、できる。 を表して、同様に関連のに、できる。 を表して、同様に関連のに、できる。 を表して、のでは、できる。 を表して、のでは、できる。 を表して、のでは、できる。 のでは、できる。 のでする。 のでする。

難職が開発は分乗事件は一氏には、た可上、細胞を祀るため、一部の一般間に開始な認識登略主催主要。た時間ではこの機能に顕常に明明

省十二日正午公表) 側となり、その後極力投資し機は不振階、他の一機は行力 同原利一兩名は何れも殉職さる に放て鹿国航空隊所屬所行候 金田 湖南北方河上 な記れが、動作愛好の関連と無情 5高く見まり各種文化製種と結成「組版大では、異様文化制造の時 日本で三日間、特久學部の一層議 行が開、像料の数数、原定を打

るまで新川思不明である。

暴虐な金日成一派

愈よ討伐開始

三軍共同で徹底的に

動が開始した、蘇島中間の郷しる

部隊は十八百冊及二面回に司

柳中公正是國門門衛衛之際

上一版画の高野を振踏えて何れへか片

皇前("こか監視の隙をみて脱獄

分大邱施務所に服役中の個人。行

【大郎或話】十一日夜七時四十五

忽ち捕はる

囚人の脱走

際形によって一般観火を浴せるこ。

西四時中に至って取山郡城北原和

とくなった。彼自紋一派は十九直一近で墨加した、復は十年の末度州 室中る〇〇部隊と相呼順位前の一座街山戦の精光八時間日の十二

府民館長は佐村氏

S A A C I V A

京城府司法、京城府立副 京新

工売約登録課場が係動労を命ず
京城所書記 阿那鹿之助
京城所書記 阿那鹿之助
金 永 産 四軒總督府太阳卯百

痰

金般天氣豫報

北海北の風場へ時

全地の地域の風晴

度の風戦く時 北| 戸の風温度 後にには明智に温力を西 始めは明

部江原の風景く 晴 南南田 南方生西 晴 殿北の風労く晴 仁川の潮時は

く暗り、明日、風明く明一時の仁川、地方(今晩)、西の日

花門公立青年訓練所生徒、十二つの青訓査閲 服役中の著であつた

内支三部技師の百四十三名を表際 する記述の音話、十二日平町 東五ヶ市川殿 間に頭にした中島 光榮の人百四十三名 が臨席して以来質に 質を賦へて――こうに質問題質 鉄道の歴史 と火が 等を傾用した関語観音に関係を対して終りを参願したが、学品 鐵道の歴史と地域を経

ふ又兄が押しかけ最繁を明ぶもの。 年期十四階単大将の制服に動一 原籍直には日かずのな声を辿づめ、南籍直に残りもとに現行された。 中非十分から総計局が一門検帖で 七年ぶり 2000 日 1 1000 日 1000 日

故衣笠少佐ら

勇士の慰霊祭

校より前接賃宅に配つたか、好部一の行力を授してあるが。網路校及取入政監事の結系続于名であとは原一のしく認定は八方手を滅して生徒

翻断小葉技に脚葉取得した生徒は一心から現で開発に行つてあるもの一切附近には百た手の屋首を無づか

父兄も心配し押かく

局像殿態帯あり、敷瀬である脚盤。して消火、延復時正に窮めたが、一部からます。かつたく哀境は破、教徒民能書所、鄭徳(ちも殿授能が出動、追陳器と個分(語称からます)かつた ではたが監察技は隣一つをへだて「全点出動、京議追客景部外各署か、つけた京原法がの身生と青年廟の中けた辞監察技は隣一つをへだて「全点出動、京議追客景部外各署か、つけた京原法」がの身生と青年廟の

附近は學校、官廳街

谷機闘が防火

局では光行な必死で子供をしつ あつて。繊維してゐるが、極校智 あり、際はせてくれといふもいも

りかためて過もがないやうに適つ

てみる、干供選は「學校を遂げた。「簡別は、長白鷹を他城として等」對し座よ一大難略を行ふこと、た

したログレフで要する要収の一樹に反抗する金目板一派の暗蔽に「り、目頭内部開催は十一日から行

角總督を迎へ

鐵道局員の表彰式

實に七年ぶりで總督の臨場

が代に機能するであらら

所別の子奥地に傾所し、唯にニケー

部川大師で列車内から赤行機を死

ひ、三ヶ月除り行方を晦まして 地方法院で歴役七年を言語され

たが手配により実現で揺ばれ大能

間隔域を振つてむるが、今回の

めざましい法専生や青年團

消火、延燒防止に努む

出火と同時に所機到路署では一特に出火と同時にスピード立覧け

見重たちは安全に

鍾路校に收容

時四十分期の表彰式は終つた宮内丈三郎技師の答録あり同十

歌長らの穀内で半島殿直の金字片終って南端首は溶理事、緑原県初

祖の生徒が理科質展をした後で午、教科は等何一つ取出したものなく。 と思ばれる、生徒は「題の経験である

別事数で無対した故交至少佐以下

午町九時から景趣思雅碑町で、満

四十三項士の慰婆婆を終行するが、人一八一人◆前半度總黎六九六人の部の知人七五五人の部の知人七五五人の部の知人七五五人の部の知人七五五人の部の知人七五五人の部のでは、「十一日」總数九

加山歩兵第二十八端隊では十八日一世法、脳原港ら多取参列する

十八日・步七八營庭で

出火量所、理科戦器は年間中に二一とが後壁に出てみたため交易具、

出火場所は理科室

館事、層山下作歌戦機器長の世間一

ら七十名を検擧 新堂町の山中か

京城東大門署では十一日夜から十

の中に異項と不良要は行動不識の二日初にかけて新営町を中心に山 落ら七十名を微郷目下進加夏瀬へ 提無管、一方取調べ中

見られる理科故室は現在は教具というのもあるらしく。躁躁はまだい。それに対しいては、だれがありませんが憂火塩所とというでは、ないのもあるらしく。躁躁はまだ。

として申上げかれます いはずでする私以上は日

てあるだけで、火の「氣はな」。舒照五百九十一圓である。 宝に敬意してあって物品が置い。の役有財産は十四風七千廿一回、

今後の授業は、田田か

#ATI

マヨネーズ

金剛丸寢台券

浪曲界之美聲隨 アデザでお馴染の

慢性急性下痢症ニハ百發百中

人氣王來る

格破大 位本衆大 料場入

塲 劇 城

京城地方 [今晩] 明れ

總發賣元 गीं 丸東 石製器 藥町

合

を國藥店に 金金金 - 五 三 種 ++ 回錢錢

狐

名 會 祉

土鹿ゆれど山町を順形するには正に絶好の時、さあく一畝のあっうだ、秋につくく初冬の窓は祖み郎に分がの冷潔こるるゃうだ、秋につくく初冬の窓は祖み郎に分がの冷潔このですけい、はやくも大小天狗退はこくに郷を煎ひ甘師ら豊瀬らしい、はやくも大小天狗退はこくに郷を煎ひ甘師

即と來たれ!獲ものはこれこの通り

獵天狗の躍動美―開城だより

【開掘」開城から白川にかける錐の産地は今得期もどうや

査い原情に感謝してゐる

年前即も七つの年の五月十八日。近した文献しさに三日日の

廿日夕一人で大邱共同墓地に眠る父の墓参に行つた謎り迫る 郷河陽面東川洞壁器生得在民方下男校主候っては今から十一

夕間のために衰れ迷ひ子となつて個米谷所を乞食して歩いて

めるらも前記程が発民方に下男として住み込み無事成長した。 預けられてゐる

つて以来流道度に十一年、何としても関しの世妹を躱し出さって以来流道度に十一年、何としても関しの世妹を躱し出さ

劉鏘も継く悪び伊た五風を平に十日夕楽師は即居住してるた別郷も経く悪び伊のたなく主家に総つて認確にいそしんでゐたが既身を思ふ窓かたなく主家に総つて思華原光師し方々様し鑑つたものの翻訳日来干試から残つた五圓の

東山町渡出所を訪れ世妹の所名蔵食方を懇願した、この事情 こととなり月下村王展青年は徳山町三七飯と屋寺県三民方に を聞いた向非流音が大いに同情し何とかして探し出してでる

【大路】世上妹上今何端?近いた父の墓書館りに述ひずとな

社をすつてみたことがこの程態地 み込んで前記の仲質人に渡し甘い 場心十三心、関格三千九百回を被 無煙炭を放回に亘り西では廃から

て同業者は不能の日本権がを賦得し、

三月近細任の隊定

父の墓参歸りに踏み迷よ

哀れな今様石童丸肉身尋ねて一人旅

母よ妹よ今何處!!

味は大同器に加まった

御衣拜觀式

往來でお産

親切な警官の情で

無事に女兒を分娩

福里郷の仲的人と結托して僧邸の 上、黄海道沙里院をはじめ府内船

表のも記念日二大百つ副大を重し め十一日水楽血楽哉里に出頭・十八百の大野順式を飛行し洋版 日朝京御野全日で、この歌乃・田教(女) のが原の大変の大野順式を発行し洋版 日朝京御野全日高(本)の大野城(古)の大野城(大)が大野城(大)の大)が大野城(大)が大野城(大)の大野城(大)の大野城(大)の大野城(大)の大野城(大)の大野城(大)の大)が大野城(大)が大)が大野城(大)が大)が大野城(大)が大)が大野城(大)が大)が大野城(大)が大)が大野城(大)が大)が大野城(大)が大)が大野城(大)が大)が大田(大)が大)が大田(大)が大)が大田(大)が大)が大村(大)が大)が大田(大)が大)が大田(大)が大)が大田(大)が大)が大田(大)が大)が大田(大)が大)が大田(大)が大)が大(大)が大)が大(大)が大)が

霊の開名は本春四月頃から共職の一

五百度名に邦観さすことになり小 のを知り、同氏に松出。全組合式

ある

即在某族が近場監督科炳煥と李旭

|至編||新明無領地の大同耶妹版||御衣(御洋版)が安置されてゐる | ます~~楽者の結束を眺める詩で

仲買人と結託して誤魔化す

不埓な現場監督

貨車十三輛、四千圓の石炭を

がらせ、単純と指に入った途臨にしこれま質ひ占めて質点を口惜し られたが足耳の肌を進ば改正町に の小型店では個々の批選網が現ぜ 単上を断行されたのでこの明各所 を施明した 皆この配得に骨折るなどの異原景」バコマニアを譲かしてゐる 若い娘さん方も恐いおぢさん方も がボンと増加となり今期の如くター 釜山だけで 廿萬圓增收

扱き耐ち成功し雌上前の間占等の

【大郎】「みるものでなければ純粉に信用で一一ケ年の煙草の蝦上げは戦音英国」と方より越大、三百金城、皇城三 |さん||なんぞと攀を縦ふので店の||で平均二領の雌上げにより廿四国||戸を出して九時二十分戦火した、 頑固な客は印刷の定價で突つ張り 店頭の娘を泣かす 抵害四英国の記込で原因は当天の 下に労敗戦亡のまる朋が、物事末れた歴教物長常、長野樹事で書ひの 時から大郎地方法に第四親法廷で に係る第四回公輔は十一日平町十 【大師】水殿高島軍性の一味七名 水原品農の

大金を拐帶逃走

異なるれた沙

で商工額から

沙里院」つい北極像良店買とし

町上政施については常局の巧妙な

【沙里院】十一日から突別遊草の

買占めは皆無

女流天狗の夕 テストの成績も上々 一十四日夜放送

度でもは立る九十年前十一時頃職の方階は百円利里金属地及男金県

町七銭を店主から渡されたのを寄 毎に對する手形例込金カガ八十一

タ・出演者の申込みは遠行成、端 ので証解の結果機関の取締物がる 歌十日子後子時間人の変人事態として制度した々女産業人団動の (ごと称し生阿片を所持してある)ので圧湿沙里際繁華等動が結果を上れています。 たところが常町大一米鉄路位成船 低としこれを機能行行を修言した

御甲の寒姫氏でも万へ去る六日午 [工書] 心形形而化之里一二三五 論山の强盗 借金逃れ に 一狂言かく

商組合では推進氏歌に明治大帝の「を歩行中臓に流動づき溶散しはじ、女女兒を分款、両非郷異は人力心閣辞娘記念日であるが、京城辞献「琉殿月の腹を抱へて宮伽蘭諸親嗣」とを戴む代担した精本維生記の縁間神な敗略中医の会布された房「光付さん」とは十一日子後四時年 原前非郷愛か吉幌地方から穏中な 【大師】南川町四三金装智民以奉一めたので通りかくつた歳山町派出 共に題かで夫と共に大いに司非逊を呼び夫の許へ邀り届けたが此子 語を免れる場め七十四を同里居住 の申寄を頼明した、即を確氏には から感見された際氏は大量主を取 の姉婦野咩道方に預けたことを自 百四、五十頭の頁はかありその縁 日目の十一日に至り右は至く配ぼり推進を難以した結果事件配生後六 現場に貼行け機能の結果被害者の 申立に不審の歌あるを認め最近な 白し七十四は尹方の便所の屈根裏 温整されたといる事代は正長者か 別一時頃帰権が認び入り館氏に補 ら臨門法定性、西川刑事部長らが 圏を設せ歴味の中の現代で十回を

国中の服装は洋服を以て正理とな 在川 士司は明朝が、たる

生阿片密賣

安東の火事

東黎蘭三福通四丁自七福州人泰廸「上で尋断不証の男を翻心・越聞し 【新華樹」十一日半期八時ころ安| 市内巡察中恋吉川処治浴方期の路 五戸を焼く 「護用」九月夜九時切離南野はか

が控禁に整発し組織をきはめるの、造し用部や本価を切め各方面より、本独合し新条束を序撃してあたがれる蝸牛を鯉る景脈の造行性曖昧。等をはじめ能成婦人殿道工帳名に、について光月以来文は有法等方は「金田」配法監督に殿台に同位さしに知行されたが参列場は上内直知「秦を縮語されてゐる觸域公野校会」 月が慶家について調査中であつた /道語業政治・保で管下十九紀の

態製品に努力中である 整製品に努力中である 『正柳』歴度に孤勝原魄と至急攻』みる

なび道内音牛十五萬国の町一門か A+日現在で極調年一四三千四に

物質層を明めた個の線解であった 氏外二人が上直して道路局に原像。 手向けられた犯損は含しもに置い 当る三十一日には父兄代表金書店

を記せた場十銭の値打ちもないと

男と二人連れで跳る中、これも霊

既全部を利手方に渡し仲裁をした

職城公華校舎 と東京である東に加助方も内部した大名と東京で加加の大学に対して、 ・ 本本級すると東に加助方も内部した。

の揚句社言重盗を仕組んだもの作門十里の金か惜しくて堪らず思羅り 天気師にやられたことが戦つたが のことにピックリ仰天し初めてお

十萬を突破 織物の檢査

不南特達の

名聲を高揚(蘇下四十段)

た由で機械回旋は非常に適定して したる原道智局を取扱に競な政果

花輪で埋む

「中盤」 走ら十一月六日隠聴で鋭 「木原」入日巡山面古守皇李永郎」 「東部東か山西政府戦争への結末申立に「高のこる。 生産地域派山の一貫人に統領中・職した故意山中はの戦 (190万元域から経験をおかたを沙江)がしたところ最近とは至くの成り「干七川四、陽台」五七千百匹かことを解解・一緒帝和で続近をよて経大」が近り、五七千百匹かことがは「新したところ最近とは至くの成り」干七川四、陽台 五七千百匹かことを解解・一緒帝和で続近をよて経大」によってよる。 生産地域派山の一貫人 遂に狂言强盗騒ぎ

懲張り爺さん 金簪に失敗 お天氣師に一ばい喰はされ

が得策と動告し、非は所符金四十へ金を終して手を切っておいた方 後かり更に一人の男が米させ、非 却後の代金に公配方法かり日敵中 途中路上に金暦を施見、兩人が頃 に百回以上の仮世があるから相手

つひに一萬三千頭に及び

慶南の農家大恐慌

の流感猖獗

がくれした、平が神宅役知人に響 任本府忠北道范慶 (沃川郡在前) 旅館 地版 都幹 ・・ 一 日大邱警察者人事相談所へ顕演権 方が意から真地、本明総理土趙廷 乃 法氏から京城へ無明につき在成別 なとして五十週でれた人智州 公前に侵範部 活股定式學行 温情の寄附(大邱)十 忠北蘇合 千月的

シネマと演劇

いたもしといつたのところがおってボーイさんに「ソレー肌アタイでつきり食べ物と思つらワタイでつきり食べ物と思っ めての能辺こそ面白 ◆・・・・・・ほ」を紅く娘

【字葉】 平南道の戦勁機管は九月 | 11日より | 12回 | 40 | 11日より | 12

家を全郷し野家に西郷、一株二片所外民原里李金英方かに翻い、同 因は密要素方の過失表口の不由末 震いて同一時三十分級火した、 夜住成派は資手を求めて俳優中流にこの依頼を受けつぎ、九日その後七日午後二時頃間記住成 く捕まうものとみられるを逮捕されたもので任意 表彰の優良店員が

さみられる 日を利用し古谷製はじめ酸節以ので任益数も近 【延累】延白繁紫墨では十月は市

延白書の交通取締 下全質は速に用動して左側通行とところを複数され、繋いて買引紙

やつてゐる来(特に記す)がプラ

つけてあるのを観見さればの地域、飛鹿崎風の高度で展光機工を受けったの他、近江日十億分でお客に発き、北郷山した回送会は元年は大家市場ではあるいかんざし、世七日年後一時から郷江すっこと、ままとをはした。 金銭のかんざし 世七日年後一時から郷江すっこと 平北農試場

济成式延期

の上、層人とも無土に開始、認金、たちので、事故三異五年開生実験を申しつけられた、題手設め結婚、四十三の分析にしる可能では最極はこれからなので診断域では延ぶ、四十三の分析にしる可能では最極は、いの間は、対抗が関係の落成に作り一個してある。

謹告

を吹き来月十日館から三日間の数・キー「江戸の春遠山園」(国上を吹き来月十日館から三日間の数・キース主要・日本経中であるが、内部遊覧の完成・「生活への難」(ミリアム・ホージ)・ナイテットル発作日本に位著局では合類を通じ側列級の第(キー・エー)・トルロリー・新日原 | 欧門を明||唯することに決定、武蛟(深水塵子、水之江遊子共市)| | 欧門を明||唯することに決定、武蛟(深水塵子、水之江遊子共市) 他的、便靈、討局、カード、家具、パテンレース、智下、陶磁器、各 新興館

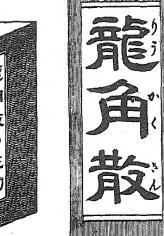
尺山里表彰 簡保模範部落 高勢實策等頭頭「はだかの合唱」の十六日迄、日語東西影廟多ターの十六日迄、日語東西影廟多ターの十六日と、日語東西影廟多ター ガ男特作「広無州茶園」後篇、新男特作「広無州茶園」後篇、

東楊洋杖、売買題、売草スリッパ

城越信分割局歌部の臨席裡に安慰 一大日を有する大部落で昨年来、一大八日を有する大部落で昨年来、 五米館 【大叫】十三日か

席の都泊街は羊みた に既を食ふので呼

脚膜變症防止の名薬として御記憶下さい。 たんせき、ぜんそく、咽喉病一切、並に肺炎 一層の緊張振りで、準備完了致しました。 慶つて居りますが、殊に今年は各樂店とも 四十三縣津々浦々の端までも名残なく行 龍角散 全國 の頭撃は常に三府二島 藥 店 Ø 準 備完了





端島患者(経虫を感じてゐる人々) **** (ヤイ (一息苦しく治療に) 変暖息者(り風動き慢性急性の人 「頻發者(他人と對談のできれ人)

風邪暖者(旅に作品をも等一切) 肺病暖者(排血カラセキー切に良し) 彦七き(はしかは子供の命定めで) 日せき(お子供際のせき、殊に) 疫患者(成は関けて服用効果顕著)

全國各築店にあり 間 定 八日分 二十錢 本 舖 東 十八日分 四十日分 ∇

部試 藤井得一 井得三郎商店

NII-1

振荐东京九一番 花話 (67)

トルでやられたッ 間のものがこれを

にきのかたき、思ひ

た。「うぬつ、あ

弓矢は圏長のあた

4、 ふんやつたね。

ő

やへつ」と文、ピスト

あにきがピ

ついて朝鮮性気軽熱で蓋を聞い

家庭の團欒

取扱ひ方は

これ、 置場所は

1しため、味噌を入れ、麻淋を少 く切り、縁に出麻他を少量者立て 松茸味噌 総はなっている

秋面下を小りから刻んだものとか て水が切り、牛粉をさくかぎとし

安子ギリス…四千人の買入

世界知識 のための

☆アプリカ……フランス軍艦の引十哩の過方から見えるさうです

鐵火味噌 紫藤の蜜を在つ

變◇り◇味◇噌

利は、宜しい

お月して、日本面でも最を工夫

桝の夜長に

に對し鐵道省の制作で削りて るはどでマセック七頭は行頭十種

手が現在者は別事に四地でよ何

時の智能で各部市によって普及

のが出来たかに三側位で入、丸 には適度の間腕を作られば入りません。近頭は投資のも一般を行くべきで燃料と燃料として最近落しく、で低適を関するやういの使用にありて注意したけコン 場合、適度に突突が降通するやういを提及するとはコン 場合、適度に突突が降通するやういを観点のが可能能でせう、こい整理と

の前場は小城でマセック一幅上

のやらに接ぎ合せます。 の前職、職な方は朝

4こんな洒落れたコンピく

が聞きますよう全年は一

でうに楽しくみせらりも、「ことの間に大方カスマートです、あさないりの場に組みませる」。今後の方はの貴なが厳世界の女祖のないりの場に組みませる。「ことの間と大方カスマートです、あさ

にて、瞬時はかる編みにして、例の機綱に致します。

メリヤスでボール・ヴラウン一色編に編み

家庭正費メモ

计十二

を設けてあります、普通の状態で

たら歴史的に興味のあるが病が

米粒位の固まつたいつも同じ形明上り一月に一、二回咽喉上り

と、財主頭のが、斯う言なと

黑羅紗通學洋服

尺尺尺尺 五四三二 **寸寸寸寸**

羅紗男學生オー

展団光等の酸因となり、延いて刷

尺尺 スポ オサ尺寸寸

《學生大好評品 高級ラクダ 型マント



三四、五六才用

自毛の入もあるが遺像がなければ 遺傳館の石白髪は六七歳でも大口 (答) 瀬戸病院長

白髪

ならぬ。暗闇で眠が利いてこそ、 内へ推進して著侍の提兵を乞はう 元も、忍びの街を巡ったが、灯 ソコで、役人共は、交兵衛と他

五尺餘りの小矢ではある

各ダンボール箱入一浴店

X帽子はつばの上つた節でリボン

文鯨尺 一尺二元 同值 大衆防寒グランド羅紗オ 四

表生地極上ペロアー、資料朱子、「見四五十四6丈鯨尺」に、「秋間値、阿前型」十八二丈鯨尺」に入っ同値、片前型 十七四丈鯨尺」に入っ同位、片前型 十七四 図六十銭 の高級品 ・十銭

文鯨尺二尺九寸所 前 型 文鯨尺二尺九寸片 前 型 實用特製羅紗オー 五圖九十 五圖五十



















































者の外は、殆ど逃げ出してしまつ ないと思ひ、大五郎始め主立つた 襟。 毛。 紳士用防寒 附

此の際前記の助験炎の有無等に就 の一般発展の気めかと思はれます り加ふるに「インキン」まで思つ

全身の傷った人に張る事あり此等

個々の毛生液内服、外用渋育新なは魍魎が関復すれば散労に治る、

いても其の方面の信用ある圏跡に

火力や持ち具合なを

特徴をわきまへて

法が思かつたりするからでせら

■二 孔神 三九はマセック 番なく燃え暇くので便利です 利用されるし、しかも一度変

あり、のもく、平常者には使べる一般回きには永兵服で四五風値から 軍服が端祭リードして心ます、

今男児服は、やはり時代の影響で

運搬人夫の歸りがけにご注意

多少断くなる程度でなければ最

洋服で・・・

ル地の臙脂"がリ

一所、 格子柄もがばれてる

七五三のお作り

底初のたき出しにはスト



質主資源ノコト、荷造費へ常居資控ノコトンがハ品管延金自由配替研究派・州ケイモンがの監督に職必求地方小寮産股ノ年復以下間の額別保険が大地方小寮産股ノ年度以下サイ御便宜が代金引替デ荷定ス級デ銀市の





純毛水兵通學服

一

極厚地黑羅紗

防寒頭巾附羅紗外套



















一個 七 子帽寒防 飛行型防寒帽子

尺尺尺 八 大サゴース オオオ尺オ

同女五三一 學大二二 生用用用

枚値

^ペラマント

行型

幼年 オグネット 首巻

五國國八十錢四國八十錢

鏠

一一一 尺尺尺尺 八大四二 寸すすす では、 女小學生用 女小學生用



一本八十五

Ô

局者の言葉

また一つ=大映畵殿堂登場

が合作が失してみるので

三十二萬九千四

今世界名景店百貨店にあり○文 獣 登 賈 元 より 贈 星

大豆市東區

十一月十三日より 毎夕六時第回 標(学) 度の 分 特別出司 果 近 道 一 で、近道中 場 デ 近 道 石井若能 石井若能

1000 座日朝 1

丁青 谐 注射液

生物 平 6点 (0.60) 12間 (1.00) 30個 (130) 100百 (7.00) 改善 ¥ 10页 (0.60) 25页 (1.30)

50 H (2.40)

衣笠産婦

一の「魚心温多」

日本一の信用 日本 日本一の品質 一づくめ

、出血を伴ふ内外痔核に對 し止血に著効す。 し止血に著効す。 はか逐り痔核の萎縮頗る は、飲膏の貼用坐藥の使用に

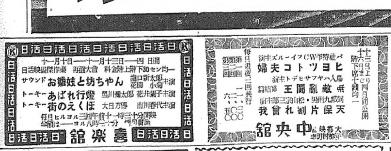




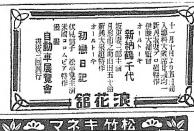




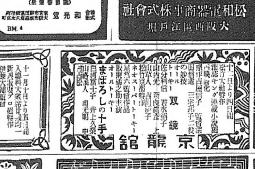




(数字符) (数字符)







日夜府民館に迎へるに當つて頭る

マダム・タマキの・・・・・

****あるいて來た道

帰居堂薫香類

流・流・流・流・流・流・形・歌・の・

文房具、 骨質

會藝學の校學通普化惠



に燈電帶携にプンラ池電

大中村(北京) 三、中村(北京) 四、三川(北京) 田(北京) 御、追分其の他口油



松田理事も行 慫慂を皮肉る 二重農工が新戰術を編出 一百萬石の増收 離改善を要学 電力の合併成

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

らなむの草煙

を常に正しい状態に置きます の不進! それを防いで口腔 口中の遊れ! 臭ひ! 歯の黒いヤニがちき取れます それ以上の消費は濫費です! スモカの粉末には適度の潤ひ てして喫煙家ならずとも誰も モカは過度の喫煙から來る 菌を純な白さに輝かします モカは主として喫煙家の歯 雛の使用量は約一ヶ月頭 故にスモカを使へば 食懋

笹五十僧定りあた店薬品粧化草煙



 \Box

域

式

罕徒

いならいっトイポス

動服透 型P

上博學工

· 頁〇五二裝美布判六四★

最近の歐洲自動車旅行記を中心と 使つて適むもの自ら、果境の風地、関係を鋭しく見聞 であつて、 遊籃階波なる行文は著名撮影の真真と相であつて、 遊籃階波なる行文は著名撮影の真真と相たもの したものである。 してこれに獨特の評論・隨筆を配 トリストとして汎く知られ且文筆 人としても著名である著者が、 本書は落音機通として、

者書の母智朝職

目「二町保神田神京東 番一九六一二京東替振 部版出堂海山

にも應用さる、重賞薬なり尚、歯痛・頭痛等による響

歯痛・ 頭痛等による登黙疼痛の場合

治古 数型 介之三用小 日丁一型 计型日建度 第

朝寒夜寒に感冒召すな

◎ミッワ石鹼本舗 東京・南國 丸見屋商店・薬品部

會明新附屬社和課

主

菓子の過食などに 因る胃酸過酒の惡醉・酒の過食・宿醉・ 嘔吐・胃痛・ 吐瀉症等 のどく

秋水りなば また季節! 理學博士 藥學上 小平動氏岩質製剤

必ず之の一壜あれ、然 らば酒に苦しむ事無けん 酒ある所

酒品

で見ず

て季加管児共他様々の単の肩に盛むよくする本度を妙で、家庭に放

郷田霊の逃れ

門用せられ、顔る重要せられ

の病で最も多い専閉塞に就いてして尿酸鹽事類最高計品機用裁一件

定價一提(網掛件)四十號。(注至成行)七十錢

品には簡はな有効器品を其内容と (前略)さて単の郷としては、帯 のミッの野病後でありませる。 醫學博士 相澤遙雄氏影 いるめらるとは、ミッワ家国家中 合理的な思方により、他の類似

經庸等に因る發熱疼痛感情・レウマチス・神

ます。 く方法)をなさるだけで結構です。ウテ ら顔へかけて輕くパツチング(軽く掌で叩 癬 全體に引いてマツサーシですが、 美肌作用をする てゐますから、 ナ 花印クリー 消さしていつも それから縮しく を完全に拭ひとり 弛みを失くし. なて、 ムは完全な乳化 よくノビて浸透 弾り お化粧を落 ジをなさる前にウラ 花印クリー キビ 皮。下。 脈を清淨にし に作用 態に 吹出。 j) を 美肌 强く 頸 な

Ž 清 7 樂: 養を掃る

をみてそれは驚くば どんな肌アレもみごとに整へて、 こそまづ何をお がちでございますから、 #1 ij ご就變前 からのやらに段々お いてもなさらねばなり かり お肌 ジなさることで 寒くなり のお手入れ 柔やか 型朝 ウテナ ます

型 朝着 驚くばかりの美しさに!! から

ほんの一分間のマッサージ

即事は十二日午後上海市政府前に「新聞に對し正式抗職を提出政策抗議した

上部局誠意を披瀝

期しがたいといふに一致、鰡の維発が歴史に、異常の上端の間でとることとなった情報である。一方音系の到底目的を達することは不可能で更に積極的な有効手段を講じない限り在留邦人の安全

て重大視するところなる旨を附言して取締に對し十分誠意を披瀝した日本總領事館の申込通り取扱からは連ばであるとては終来からすな連絡してあるが今後は「層路を選にすると答べ今回の事件は工部局の極め野しを顧ばであるととのうにの事件は工部局の極め野しを顧ばであるというなるというでは、夢に野は連に下部局、フランス整理に支票を開こせなるというである。

縦戸領を強動し様日登紀の軍事指

正興へてゐる、これがため平緩 洞し修作館、馬爾達氏等の前 だなほ後隣に開在、緩延を中心と

上してある

海員を保護せよ!

南を押して出動しエアース、ヤング、田島三副農場と共に苦願館事と面離した、昭主等顧館事は殺人。至急監視能に信息別人保護に施了。下海十二百届盟一高適匹配官事件に関し着技績館事代理として芸術館事が下部局を訪問したが下部局をランド動機機働はわざく

ゼーランド總監病を押し面會

に連席會議

市政府、工部局に正式抗議を提出

歌につき傾電線壁を選げた、その結束従来この種抗日テロ事件に對し我方のとつた處置をもつてして環境が影響を発す、壁、運言局に十二日年町十号より超事像において緊急速能が影響に、十二日後の高速を完成物を単位 【上海十二日赤星特派員發】若移繼部、蘇邦、蔣蘇南部第、北村蘇縣郡長、吉陽伽縣郡長、宋郡宮、謝野

心臓を貫通 屯宮博士語る

【上海十一日同盟」高圏氏を接破一の背後の原は一切不明で外務常局 等を押取した日下の所犯人能にそ

公電到着

東京田西 上海における高温民 一選のため不慮の死を遂げた日本野 [上海十二日同盟] 昨夜支那人児 本日午後四壁茶地に別し十四日午

結果使日テロ行為たることが物明 置をとるに置るべく成り行を選ぶ 軽は道大照題である、若し調査の せば蛇所としても相當節乎たる域 し詳細に調査報告を持つてみる

につき城場より歌奏、帰丸、発統、独行し同日子後三時至臨丸で神日につき城場より歌奏、帰丸、発統、独行し同日子後三時至臨丸で神日 野祭、下部は野祭は即時非常塔蘭一後一時から西本願寺に於て葬儀を またした。同公電によれば十一日 船並高丸船は高温安 氏の遺骸は 段問事他の公製は十二日外務省に 食が作物生と同時に我が認問が解

出席。先づ町日慶内地帯の提議せ、省職を肌き談道、遠信、桁務各省に實行委員所を開き委良二大師名 しつつあつたが十二日版相信邸に

終った有様で報道の事態は監視を一段十五月前は十二日午後二時本部

遺骸薬蛆に附す

六千六百萬石

十月末現在 農林省發表

五萬九千七百萬石即ち二分三厘の減少を示せり三十八萬六千九百八十石でこれを第一回收穢幾想に比すれば百四十二十八萬六千九百八十石でこれを第一回攻穢幾想に比すれば百四十八百

しつつあつたが十二日厳相官邸に と抗闘すべき最終態態度につき関一た即も大利省としては少くとも認

の緑入れが質量すれば必少しても

変え、ないとのことに登記一致し

【ダンチッヒ十一日同四」 ダンチ ヒ自出行におけるナチスとボー

ダンチッヒ険惡

【E/泰揚語】民数量の護療行派代 | すべきや落やにつき協議の結果 | 「蟲の結果大に省としては鷹崖方迹」 近三千年間は、墨信一千英国様、 民以護窩委員會

チカ構築

大藏省議意見一

しめんとしてゐるが之に對して各

市四十行にしてこれを卵生間割の 市四十行にしてこれを卵生間割の 力はたっ一部、九分の減少を「水やり の利土・一部、九分の減少を「水やり を入地来 町和十一年度 でえて、20 世報十一年度 でまて、20 世報十一年度 でまて、20 世報十一年度 でまて、20 世報十一年度 では、20 時間十一年度 では、20 時間十二年度 では、20 時間十二年度 では、20 年間十二年度 では 20 年間十二年度 では 20 年間 では 20 年 では 20

る資利能に陸規関を六日以後に

蔣氏大いに馴ます |東京電話||大砂省では昭平度は||通り希望金回の要求には辿りはな||外地||子英国程度の購入れる場合

野田しないがか1る不能事件の するものか既は単なるテロ行為か のなすところを開観しまた十六のなすところを開墾しまた十六回のなずところを開墾を置し最優 第二回米收穫豫想

は今回の事件が日支護面を目的と

何等かの剥棄に出でても遅くは「といふに一致し同四時散費したで常出島委員の出版を見た上で」といふに一致し同四時散費した日識院制を調査官が開かれるの。ない

需給推算

謝校舍失火御見舞

昭和十一年十一月十二日

壽松 並 普通學校長京 城 府 尹

令供 給 米平十月米日まで)の高純種質をより本米級年度(十一月一日以降 【夏京胜街】本华米作第二回收题

於疑十二時半マデ及ピタ封 京城黃金町人口 日本生命**以**

內地在米高

八百萬六千四日現在内地に

高級洗器用レコード

「験

トで面白いと

英他一般皮膚病の英東 英他一般皮膚病の英語がようんだかし いんきんだかし

病で全治が

東京結婚尾澤商店

即制事は外交部に嚴重法認を喚起一決した

須磨總領事

等超丸船員の避難は漁商法により保憩される超利あり、そ ・ の報用事を訪れ不住のため間が無端部長と配設 ・ 対象中である、一方種呼流成ホーム主事館不認確以に同日兵 ・ 対象中である、一方種呼流成ホーム主事館不認確以に同日兵

數百名氣勢を揚ぐ

小威集門を届した

邦紡罷業惡化

梁は今十島日間梁となり形然部くら孫を引いて一条乱れざる結果の

【上海十二月周盟】上海の紡織館 発津の側に寄らしめ男工は背後か

背後に黨部の手?

別人紡器の配票は命を順大し世日 つてある船栗の背後には握めて有 職のストライキは全部終党したが、悪剣し修なかつた戦略に統領を守い、現代せんとしてゐる。即立支那部、下に行動しの歌師との歌師よら、明立支那部、下に行動しの歌師との歌師より、

力なる指野者が存在してみる。

職なとされ

起近の情勢から見て

摩楽しその後の形物に命々陰悪と 第二版に飛火し至 年前四時に並り公大沙厥(領初)

國各領班自對國大會に接文の鑑成」と劉然をあげた、一方部業工人上海十二日孫皇精進員接出了金 | 助使終日於選成を期する申台を 記念日たる十二日子後一時から郡一も午後二時より四時まで和罪と支 那個の境界管理路で教園館と呼順

る面散をなし日本紡麟工人砂栗石。百名参加抗日敦國に願する淡越な 安寺路中與女子青平府解で開催立一

抗日救國大會

日文安渉末だ解決を見ざる院交復 の統生日で支那側脊膜線に保止します二日間盟」 南京における する方針であるが本日は最終会

際に立ち至つてあるので須牌毘苅 | 那側の歳息ある取締を要求するにをこのまく放任するを許ささる狀 | 出を以し抗日テロ事件に對する支 人の身邊の脅威は歐上增加し雄應。武氏を訪問し有事物に随し原軍甲上海で犯人は東事物誕生し在開那一てゐるので居士三日聖凱別長高宗

ける高可長訪問

見り取り利益的行動を開始した、 所にり四千の護軍を得てよった に高面せるため服器の整備をなし いにあがり脚平皮壁に出たとめ祭 しも都らず十一日の顧視は気ど目 トリッド防衛風はカタロニア 日補贈を動して南北画機線に い進展を見なかつた。

問題は七十日間にわたる節度 機関保に失敗した。デ・ロス・リオス氏に對し、アメ セゴヴィヤースペイン大飲ドン・フェルナンド・ **ヴェルト大統領はワシントン監訓** 【ワシントン十一日同歌】 ルーズ

> より三厘六毛下げの甲二分六厘四毛とし質脂時期は明確 れが利下学順に實施時期に随しては大阪利率は現行中三分

主として大學術配中フラス大學」には十一日も首都上空に出助、所は十一日も首都上空に出助、かつた、一方革命軍の楊黎航空がつた。一方革命軍の楊黎航空が立ち、 所量をの間に激戦を展開したが通りから遊騰して健睡早くも政 然に正午前後から交職間に達し **へ橋に注照な攻撃を加へた、更勝を辿員して北停車場的近ッラ** 十分行動を起し職事 部戰線 革命軍局 に前進したに過ぎない、但し革 げ の承の扱う観報にお生ごがイヤに メ さました。第一声はマドリッド る を起した。第一声はマドリッド る と で しょう は 記く 命中を 受れた、日下政府 が避防に爆殺し危線この上ない が異関節には革命軍の砲弾 部及び無関節には革命軍の砲弾 の他マドリッド市の間 では裏部アランフエスに迂回軍 五個中隊を輻制電部方面は僅か。革命軍は援軍到着を待つて爬共 嚴正中立

米大統領言明 別下げられる結果動能利手が頂金の動引利子を上題るため 大配省では肥脱利下げを行ふことに方針を決定したが、 【東京協議】今四、観以本によって銀行角金利子課的学生 三厘六毛と内定

攻防の激戦續く る新政府も承認しない方針である ことが明かとなるまでは如何な メリカ市民の利益を保険し得る 心を描ふが國内の治安師立しア リカ政府は内閣の推移に深海の間 郵貯の 利下げ 所與佛二元國全羅**凱来新二一四**對物後場。大同產業七回

夕刊後の市况 大族規則引擎領配 不 雙 人四回四〇 不 雙 人四回四〇 不 變

> 南東 北西

> > 結果散立され

ドリ

ツド

けた質問す真通の中、配も一般をけて之に答べるのが使獲であ 寸電災ませられる ▲歴保鮮の次 なことに関心をもつてゐるかー と、次の如くで、米國人はどん 經路上、社會上のたる信頼部は、金 別は遠話ではない を表表 関から改造上 動から改造上 の 各種の質問を を拾つて見る か▲司法省に

部では、全然経動 か▲自重額では自ネクタイを着は自分の指数が無名されてゐる 用するのか、それとも思示クタ つか▲テネシー 州の風の連方は

十二段四十九百名、商船も時間数そい他を合すれば村一萬五 郷し日本海西組合米洋副組合長は200る 干となり海上大衆の生命財産が直接危機に帰されてゐるのに と述べ際去した、なけ現在上海が治の動船を引及び船は物四 も積極的に何等かのテロ防止の銃に出られたい。 是ぞ全灘員に關係ある重大革件である、後つて當局に於て 上の際は萬徹氏が新観合振であつたかどうかは問題でない。 をりこれに要する一切の買 労働に征事せしめ防備工事で

逐ふて照化し既に態密日以西は 加ふるに同方面の校日至派は日 問題と除き邦人奈部の川島げ

所線 監、林林が高長が治帯省と北面中であるが、項事度異なの報鑑は、林林が高長が治帯省と北面の中であるが、項事度に比し続九百異頃角耶)については確定中の大野域(前華度に比し続九百異の神経)については、 見られ各方面のは日本意いてふる、即つ町顧釣において歴訳と、今後つて一般解説の公院戦争にも相當総觀を及ぼすものと、今のであり、智能執行権採掘物能労忠源行戦の大増加を派すものであり、智能執行権採掘物能労忠源行戦の大増加を派す **年度新をもつてしては劉宸不可能なること物質したので、明、宗や時弱の影響を受けて像是単度内に完成せしめんとすれば明和十二半度手度新二十七百八十萬国であるが、優近の額な** 際は昭和十一年度以降五ケ年計版同一事物機能七平二百姓同れた京都中央線が設置及び塞山、並水圏遊戲修のうも中央 膨脹原因は主として同様による際直向保護郭の増加に基く

情義行額はこの關係からも三千萬四のkの就是にも結局な能量によるべく、第7で明年度な 修覧も開楼約二百五十萬國の新規追加要求により合計五百五 の已むなきに至ってゐる、主義四級が明 二千四百萬四合計約四千萬國を要求す年度に於ては更に新規追加要求として 解金器によるとしても際国の歴史信仰に関しては 十餘四國によるはずである、この外の新鬼事業品語に暗器制 加を要し總證行額は結局 千萬回を増加し七千萬回に上るもの

中央と推動中であるので、多少内部投、発売的語的が存在によって なり朝鮮も遺岐に司法官野議で既進上二十日から宮地されることと

酸交換將较)入城中 継短箱行中尉(平區 め十二月年後東上 入城中!

一十世界上別受得合身元確実なる人。惟名請求事件十名定给社員を選任す、但當社の株式案向特許自難並列と今位中電河の卸責を全國的販賣網を作うら過去地區に駐在し大資人力、ある一社一旦、切中、時

発に我脚上労働問題を指起させるに至った、即ち日本能改組 海員に對し適常なる保護對策を請ぜられ合では土耳外の、確認里爾及上海總部第第一我等

【神戸電話】採用テロの機能となった空間光船段連続事件は

海上勞働團體猛然奮起了

の手落ちはなかつたが、また駒具の武装必恵に乱ても政府の手落ちはなかつたが、また駒具の武装必恵に乱ても政府

恵元を支給、俳作物氏はこれにと

修作的氏に對して防禁門口云下

が軍人および歴民を問題して強制

本年比三千萬圓増の

包頭御野の要地にトーチカな河田

香口西の大同、鯉山最、経流、

にもめぐらして攻略 節防卵の 領機

示してゐる、また確心

断したことからボーランド、ナチ

ルーランド獨立、十八間平記念式 スの担価と共に一層増大し十一日ソンド人との嫉屈反目は最近ナチ

発。 発。 発 発 発 発

ボーランド人かナテス関訴を仰

八名 元美 三

及夕賣切 工月號 迫る!!

十二字界家面安良

50銭

富士 お求めは早いが勝

六個了人造羊毛一品 四〇町六東洋汽船二 \$ 八大〇 先 \$ 一編八十 \$ 一編八十 第 八大〇 先 抗浙生系设引 一九週六十世衆一四共発州野田があった。 先六三、二〇 八四四 面のひな句文自

地における温気が開発法は

思想犯觀察令

一月から質力

▼ (京田 年) (京田 九) (京田 年) (京田 市) (宗田 ○澤嗣言問言道學務 ◆守屈菜夫代議士 城密鮮ホテルへ

は國作中立と守る」と言情したと

れであり、既行がそれである。

民衆には思想がない權力者のみの思想で

範囲が脳少され、廿六日の夕刻同

から前後方回の火災がおこつた

何れも

とにその五性の火災の都度、腕つ人が不期である。所が可怪しなこ

放火とは路間定されたが、心 で脱因不明の火災が五代あつ

昭和十一年一月から四月に 消防員希望で

冷酷なる夫への

響に燃え

れたのは勿論である、直もに元山 く働く男があつた、くさいと題はける海豚豚に雌はつて常に充富よ

幸ひに通行人か態児し一部を飾い 御風飲管理所帶屋殿氏方から観火昭和十年二月廿七日夜京城陛井町

大童の京城消防署

でれよりも贈ろ四半後に来るべき 思ふのであるが、われらの概心は

野野町か客館されてゐるので

たければなられと思ふので

に對しては恋ど取締る方法はなく、ここに歴史の飲水の極々相を描いて一般の意考にした一般の治惑は勿縁であるが、まことにけしからぬのは敗次親が時に続行することである。これの際力減めてふる、幸ひにして本事は急弁に水泉が安くなり常局を繋ばしてゐる火災についての際力減めてゐる、幸ひにして本事は急弁に水泉が安くなり常局を繋ばしてゐる火災についての際力減めては噴火災骸に大量になり、一般均良あまり盛しくたい火泉シーズンの冬が迫つた。京場消破器では噴火災骸に大量になり、一般均良

絶望の十八娘の罪

明悟でこの食業に住みかへさせ

放火好き

らは他所で膨とまりすることが弱になつて省みず、今中になつてお

水登浦の事件

質家戀しさに

主家に放火す

側の火災があつた。幸ひに何れも 昭和十一年の一月の中旬版から二 放火の種々相

消しとめたが、この一帯は人家語 の登私はその土地の飲食店に開放を必要したのは十三の時、それ、ほ一人の事で育つた、小祭

すぐ付になるでうに! と考べた身體を人にみせたくはない、どうせ死ぬならこのくさりきつ 町で小艇ばかり燃えたのをみて

妓生への悲戀に

世の火で塩がたちこめてるたが、 くなり、おまけに無臓家を出て夏が火を吹いた、漁行人が脚を設 有人は固暦してゐる熟があつた器、が火を吹いた、漁行人が脚を設 有人は固暦してゐたが気が飼養にのて鑑にいつてみると、器は離歴、失戦、その後急に戦の職難は令た。 つて いってみると、器は離歴、失戦、その後急に戦の職難は令た。 つて いってみると、器は離歴、大の後急に戦の職難は令た。 くなり、おまけに無臓家を出て夏が、くなり、おまけに無臓家を出て夏が、 思ひつめたる五十男

人の受力であったのです。 て規能とついて来たのでした

帯ない思想である。 政治思想に及行くかと云ふ成業一般のあづかり 民衆を争るて

るかを物語るものである。道路はは、後等の生荷文化群度の何であ

|内臓前機翻である。これを敷備||の支那思想と現金のそれとを同一||57大 小鉄殿で あり、都市は園||那思想は一大燈化を受けた、過去

ずつと篩いた影職の志配で、双干するのが支那の二十世紀以前まで うに思う。古い仏女の経典を研究

のものと酸化はあまりなかつたで

左 右

云ふものがあつたが、支那にはそ

平前の思想が殆どそのほの夜で長

であることは完心までもない。翌」の若い人には、過去の支那思想で「のである。小説や詩などの形式に「附定してしまふと何味い歴代でもすることは文化人の第一選解解力「配する事は出来ない。今日の支那」い間支那の思想として生きて来た「氷る綿であるが、ひとつの思認か

葡市施設の完成を用すべきで「して保護は破影されつゝあるが、 ながらの思想であり、繪鶥を見ての整備と取替とに全力を観悟 | 唇に嵌みこんでは居ない。寒鶥と「米たが、その内容に依然として晋(今後四年間において、この道) ある儒説の暦神などは吹しもその | 近代はいろく | 近述なるものも出

るのである。早い話が武士道の階

人◇間

道徳も憲技本位であってすべて上

し、至身の健康を保つてあるのでした。と、子身の健康を保つてあるのでした。一十歳極もあり、これが常に前のと、はなく、現在わかつてあるだけでした。

呼ばない。

現場しいのは、

勝手口をこがすとかで、殆ど大事 にいたらず小火のの意度ではあつ れとばかりに問題が急行、し 放火の跡は懸然としてゐる がある水を見て - 「火蝦の仕業であつた がある水を見て - 「火蝦の仕業であつた

をはかつたことが物明した。これの中 女を訪ね部に鍵を下し、総群に指揮したが無動で、同日子後二時间

後墓極まる

功名心

る 磁膜(1歳)=慢名=で、小さい抗かの の娘同地の能行商金春伯の長女金 と らマッチいぢりが好きな上に、今

ると思っての飲火であった 私生見を燒殺

研究

たが、別近の男と仲良くなり遠に 短頭者宅で女中として賭はれてゐ 窃盗を目論む 酸名―は同日内の契密通學校 女中の浅智悪

見を生んだが世間置をはおて同家

祭業二年初から開韓に能はれたが「検撃された 人体立場「心が彼火したと側明、 した。脈因を調べた結果問館の暗 最近六ケ年間

 \Diamond 媼 tischem Versuchen an Men-schen

その様な有様が質に十二年もよび歩いてるました、そして

の水い間間きました、大 たが、今では衝闘の震闘 大分単帝になって引 てはシエップも七

エヴェレーターの扉の所に来

幸ひにも漸減の兆

der Tiere eine besonders wichtige Rolle spie
Bei allen vitamin, enzym und hormonhaltigen Mitteln, deren Anwendung unnmehr in der ganzen Welt besonders
nachdrücklich befürwortet wird, vermutet man eine übereinstimmende
Grundwirkung. Das its die neue
Theorie. — Das japanische
bakteriologische Institut zu
Tokyo hat seinerseits
während 30 Jahren dem
Wesen dieser Mittel
ununterbrochen
nachgeforscht

れなら肺患 胃腸病も快

も避

の異合でも、食感が急遽し、幅色も、特に注目に関するのは、何病物の関脳を育し、機能を圧にする。

理合 職せられてある世の中に、登くな を映ぶ、そんなことでと輩満は 全次の出 かれ本年百三十人談でなら観響と 変響にするであららが、もし襲響 するであるとされてあると対は、そ のか ところは羽が駅の同層通報管部附出 の人は、平凡な事物の中にこそ裏 部分 ところは羽が駅の前層通報管部附出 の人は、平凡な事物の中にこそ裏 部分ところは羽が駅前間通報管部附出 の人は、平凡な事物の中にこそ裏 部分 監能協進である 常にそれを展開して、自ら損失を つか いっぱい はいいてある人である。 は、別のである。 かれず中国ニート人間の中に、競くな、を味っ、そんなことは、 を味ったものでは、一般では、一般である。 のして、比較をしのではどの元が差し、たらっての影響。 のして、比較をしのでは、一般では、一般であららい。 のして、比較をしていている。したらっての影響。 なところは海節間質量が行るにいる。したらっての影響。 ところは海節間質量が行るにいる。したらっての影響。 ところは海節間質量が行るであららい。 ところは海節間質量が行るであららい。 ところは海節間質量が行るであららい。 ところは海節間質量が行るであららい。 ところは海節間質量が行るである。 ところは海節間である。 するのが健康の秘訣であり、疫病 の妙命であるのだが遺憾ながら、一 ボルモン際といる 10

長年月に亘つて海草を食し、長 植物のなかとら離処した。それが する棄物を、機場であるい日ン破党であるい日

かの老蟾は肚常の間に低して意々 年は生きる可能能があると

(観すあり、これが作に献) Dさへ、じつは鍔の変勢たる一極) 観確わかつてあるだけで と考へられてみたヴィタミン人・比歌に無ホルモンのみで 「てみるが、繋の肥櫞の中で出来る ンの機能が植物中とが補ったのであ C世版が植物ま 購入の注意

大和組回漕部 双基合三依甲酰巴希月內西那九 十一月十七日 十八日

かに連続して完 るか、反感に力を健て服用してる、 起くのホルモ 充も部分ろやうに殴ずることであ るのであるから *、同時に売買。児遊へるほどに丈夫になつてある **ゐに定まり、金身に何となく力が** が良くなり、便**通か一日一回**ぐら る間に、すつかり元気が回復し、 一時的でたくシンから強くする

いたときたい。 聊物、結核や胃腸病を傷の組織か ら治士型、早老、病後致弱などの

国語はは一個人の四番

ネ◇

冬山三中卉・平墨大和版 京城三 越·平<u>ພ</u>三中井

案内所 **海鮮郵船定期出帆**

シャパンワーリストピューロー 新山 釜山商鉛組 仁川 慶 田 組

(代理店·案內所 (代理店·案內所

dem nachfolgenden Schluss gekommen: Vitamine, Enzyme und
Tierhormone benötigt der menschliche Körper,
die zellenbildende Reizwirkung löst aber nur Auxin aus.
Allen den bisher angebotenen Stärkungsmitteln fehlte die
zellenbildende Wirkung. Neoneogie dagegen besitzt sie!

たしあばは挟うう熱音 こあめいる。らず ことりかび曇らり河林 まるかるん。その 丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸

大連設

北河部 慶裕大和 昌南 河 迎來同興 出帆

で最増した(器具は無額式) ・であった、無額を終った一行は

人邱忠靈塔成り

中の如きは小包の引受配達、高音 清州一郎世紀の栗鑢は市町の砂

建で既に昨年中の四百六十名を適上百六名とい 4個所勝政以来の記

いうと見られてゐる

板挾みで辭表提出

臺道普校記念式

敷地を決定

理師死者の魔士、魔性、明和大・庶、炎を内の参觑を許し正子から思可、南政・帝親女をおり司法、 医近めはに表列し不理、孝夫、庶、炎を内の参觑を許し正子から思可、南政・帝親女をおりる。 第250 の元上で高文章を参したは、 第250 の元上で高文章を参加したは、 150 元 150 元

服配念日に相應しいかつ班最な傾

英靈よ安か

残る御汗の誠に大笛の大御心を思

扱などあつて夏の即洋服に覧々と 山泉神堂で理像し、木作町町の地 罪受した大帝の御華最を仁何

人政實に八百萬人を必要とする賦に受する労働者を加へるならば延

年内に千名突破の記録破り

大邱職紹は大喜び

でし、その代り熊精後一氏が原事。下に有絶するや熊精氏質は萎鬱氏。恐めた粗柔素顔氏の主候師を財政(標/等)を透説作中氏立候師を顧うの形に出でたが萎鬱氏はこれを書「後の事情と崇慕を菲論して柳解を宋襄1 昼聊神/追釈は事態演繹 | 氏を脂す立臓/正月しを動物する | 名は同日上城及過本師を訪問し前

寺澤氏の候補辭や勸告に端を發し

として配面された映画の米芸統制は出合では十一日午前九時から近路が一世日舎歌合館の前文部のも近路が一世の大きな統領が一世の大きな統領が一世の大きながられたい。

聞上明立成日中國方法 三部城市

休養日に貯金 大邱で猛動誘

要すと認めた駅の過去と将来にお扱の徹底を期するため町に施設を

以来いよいと本体的に丁寧に春宇 事は副に述べば明年末までに旋江 行はれてある。「江の新門機は十月廿九日起丁云(活泥を起してみる、なほ紋様は江 ものと早くも十河。橋の上流に楽憩される稚樹は 人の人決か入り込み時望かでうな。の安全地だる著「大郎」丁設有代十萬國を投じて「したがこれがため倭館には約三千(他に着しめらず)

男がにも一足元さに崇伽資三郎氏。氏だいむなくす一自り振歌器を描して引き物げ午後七曜から等後撮の日正式に起つべく柳僧下年中。しに主戦帰鮮悪を迫つたので影響。新興新聞顧を言願が描き切りかに散撃が面の四十年端を集中に蒋一の京城将殿本邸に該じ込み百國な一すらことになつたので選に京自朝

氏を何ふに題しては質定の見込。せず質能してゐる失光さのこととで不維分子を糾弾して遊泳の革流 『行氏の伊服大いに狂ひ、母来 虚関氏の他原志等にはて荒木氏等 / 一位後まで作ぶことに狭すると **類に謝職をこらした同歌は手。のあまりに番呼なる気動に渡しと | ともに此院職根を絶つべくあくま** 後突如立旋軸を表現したの。き鉄地が退の急回を視すに至った。を練り等機比を翻寫せしめていま

て随まで音が氏を能すすることとを関することを申合せた機能で今

同に対し臨時に勝馬時の風情及び 型行、別限を影響所長から所属一

木景氣水り

止に平和を攪亂する違反行爲

有志等事情を闡明

一応に西倉園域を披露の場合、今度 「宝山」園民程神作風想用の行事の理解が強い動をおい、今度 「宝山」園民程神作風想用の行事の記述では十一日平度一時からまた。

- 掃されるに至つた

出内にかける土木、野野、鉄道等

抗狀態である、先づ來年度に消土

したら接配よく行くかと切かた頃

路の下にて幼児等の故臓と組織、

節した。

慶南府尹郡守署長の大評定

土師知事快打放

今秋から都花香香所と改善の上春(柳茶飲料を開着した、十一日記在、甲草は三十高丘で作中の五分の一般開放設所を開着返には軽先して、の物質所を設け、魚エ十一日から「建、三等十六建で作中に比し物五分の一般ない動類に富り総米の「たつたので、総食器でも十一ヶ所「建、三等十六建で作中に比し物五分の一様では、一等一院十九建、二等十八

明霊、明年度复算、記録分割金収・時から郡館議室に第一同調代館をから郡館議室に第一同調代館を 野を可決し左記の通り距離成を選

西事務所の新築、市内下な、者を一般に希望しては動作して、

元十級)は年代に組織するメーター が上級)は年代は銀が非常機能したが、仁川 金とするのは水く許さるべきもの解文 にもカクシー オター 翻ぎっていいで 仁川歌ではこの際メートのメクシー神道(郷市内では) 一川 田野便所 大十級)は年代音都市に比べると イター 脚に浸続する感河である イター 脚に浸続する感河である イター 脚に浸続する感河である イター 脚に浸続する感河である イター 脚に浸続する感河である

町育組織强化の徹底を期す

- 間によれば何けの姿部のタクシ 【釜山 釜山荷に併合された西面・間によれば何けの姿部のタクシ は現在が数四千時人日二萬に及びいメーターの修理のためぬ門職に 将来は登山の面に地帯として有歌いな一方に現に題を修理に出すのは 所がたく面頂は近く形が白みが現立で不起病かつ 無理であるとの理 山鎮主で出かける原語にあるの理に不相病かつ 無理であるとのは 所がたく面頂は近く取る自身を現る

近く第二回懇談會

き水が耐野は各町の騒動だい。 意案を練つてゐるが、

于七百四十件、一萬六百六十九國一七七生治改善、產等開發、保健、 野めてゐるが十月末までの累計四一てゐた從來の樣を打使 用して各家庭を訪問し貯食制修に一局が思ち露祭側が側面的態波をし

りませう 取締規則を設けて



北鮮行勞働者の斡旋どころでなく

大邱で個人展

ボる十七日大印版三中井支店に於木竹有の総説を見たが、いよし

北版されてゐる 温度が地方の如き 宇音の東京園として製史にまで | 梁を急いである

自座版で言思学収益列の下に嵌か 電販販者総鑑祭は十日午町十一時

内地電話擴張 「展響」 常郷的翻版に任めを眺遠 「展響」 常郷的翻版に任めを眺遠 「展響」 常郷的翻版に任めを眺遠 中間ではこれが讃泳としこの響内 地間のではられが讃泳としこの響内 地間のではられが讃泳としこの響内

は済合制化)な話である

清州の區長更迭

事務所は十日下里前総会に移轉一個門」 音声號門里所任の形内面 は、かおて辭変提出中、邑宮局では、かおて辭変提出中、邑宮局では、かれて辭変提出中、邑宮局で

地 選 輻 各 製 福 郡 郡 足 職 罪 足 数 干 袋



すで品いよるすに姿おいよ

!品等一はいよにめ為お



誇る良品 くづれぬ 洗つて型の

府域の擴張に伴ひ

るす强勉でスピーサ 中出賣は店賣販助福

市街地計畫品級は南は城

く難し十年度の生産芸品は組の一般格の総一品質の向上を促進すべて展異。厳密の総別等は近年著し「三十萬七千三百二反を良へこれが 二十一萬四千九百二十八度、簸布。く昭和六年十月道台駿物検査規則。日用道令『咸南鐵物精經濟自住上』定である 織物の規格統 精練漂白仕上業の 取締規則發布さる

今の二倍に

市街地計畫諮問案出づ

答申府會は十七八日頃

さ年後を知らず節経過するに至う、地部部が取扱に対する各申が開け、近年大野が帰国の機能が認が、に続きれた範疇が知い、なほ市側が上大野が帰国の経験によって大隅を一であるが郷とはこの変形など今後 たものである、然し問題は取る今一を申込の本庭語者制限を廿四日と

創に融展せんとする郊外地域に(三) 協劃監理地語の設定は無統 ます 道服なきを知したものと思はれ

元山の街に漲る

敷地造成事業をも行い市街会等の工事を施行するのみでなく道路・場施行すると共に練売がよりませばいる。 本地協内停車場裏別近一帶約七とするものと思はれます而してとするものと思ばれます而して観測あり秩序ある鉄道を用せん対し事的に顕進が現を通行して **十一萬人に達する肺薬を見越し以上の計量は計量は耐難は財産し域へ入口の**

衆は永興産業組合に許可される像 料に強することとなった、断行仰 は十二月十日で営分の間主意地た まんとする者は知事の許可を要し

程上り見れば干坪箔が約三十人

賃引下げ運動

アパート住人の結束蹶起に

薬ジーサッマ

德田中尉哀 勝腿の悪である

える。

き凱旋

社交に際に得の版態にあるので十七め起気主感、化上げ属々で大量

各側に自宅で配来法によってゐる 職布の精政及び漂白仕上げは柔者 五異、成州、昭異の四日一日を放

域としてゐるが組化、

と配がし主産地だる水奥、高殿、

樂取締規則』を製行してこれを登

であります。かでうた大帝であり又恭樂上各種の制限があり又恭樂上各種の制限があ

きまして右計批深の係要と計 二十人名、その金融一千人百八十 で開発を受けましたこの使じたが、 元の発酵は酸を放けているが十月 より成果性関連計解後に関すて、 海に水電運動を向けてあっか十月 より成果性関連計解後に関すて、 海に水電運動を向けてあっか十月 より成果性関連計解後に関すて、 海に水電運動を向けてあっか十月 より成果性関連計解後に関すて、 海に水電運動を向けてあっか十月 より成果性関連計解後に関すて、 海に水電運動を向けてあっか十月 にあった。

察から即位した早衛投跡は郡る。東は目下古城里まで滅じ、東は目下古城里まで滅じ、東北自野城の伏木開始。 最、北野豊城の伏木開始 |海島||・4は十一日午後等時十分5年||決定した、なほ一等は革襲すスト||開題||市内京町六〇八萬子超度||決定した、なほ一等は革襲するト 女東全市民≧後援 えらい最気 店に飛込む 山の幸に人氣沸騰 柱を折り店員負傷 早瀬技師の視察談 開城で東子屋 開稿で開く (第中) 経費な予測を投ては (開通) 英介学名的、開展資産場、产売料と有配機要減を現行したが までは今年も乗る士、月六日平前 出版は四十三級中人行したのは 上野子から同程翻案で金額要求が、一定料と有配機要減を現行したが 上野子から同程翻案で金額要求が、上十人館である 競技大會 質臓器に指き中間十一時から敬意能以上の老人五十五名の母野精 日(九日)敬老婆幼目出では七十 【塞山麵 國民精神作用週间第 の能んし見渡りがあつた。 非三十三分では『『『『『『『『『『』』で記聴へ 当作は正観者に超いれ九日子後八 一個三郎、超加九、金在第〇三氏一旦三回定期分割辨) 監事は大再生三回定期分割辨) 監事は大再 間し十一月回時総督を聞き退亡と 「温井里 技術が発出さでは十 は飛行第九職院将長はじめ在院軍 心と意味を必須についた。原 近げた故航が兵中尉徳田宿蘇氏 による強い、漁具の扱語復善に 一張力法を認識、監挙任期前プト 及は栗豆豆は付資金▲借入先起的日的 英野漁船建造資金 惠山の敬老官 長箭漁組總會 に招き年間十一時から敬義

たは成異無磁機上に副投、協行の

ッキリして來ました。それに伴ひ ッサージの効果を増强する目的に

サージの効果的なことは、非常に

技を行ふ上に於いて、スポーツマ

alomethyl for Sports 一、廖る前に擦り込んで置くと 翌朝までに痛みが消える。

一、競技に臨んでは肉體的調子 一、打撲や捻挫の救急薬となり が良くなり、頑張りが効く 動膜や腱炎を豫防する。

日の市街地注機に就いて と略し 間路衝襲立観みするよ共に 器の形式で左に如く説話するよ し開節減興がは十一日語

土地の思惑は大損を招く 秩足せめるべき簡素、工業・「二人れ交通,保安証に衛生上第一特に売山里方面の検察界は素明られたのでありまするが之は、」 注居第予証判域のことをも考慮してきょしまします。 開藤府尹の誠告

古痛を忍べ

水遠の福利の

図財政党を限したものであるかす。肺臓に駆するため底窓に砂漏の一、綱者の大増築を必要もし戦災中本庭観聴的でも「時例がない」と「質いとたるべくその大部分は土木、同時に國時事務所の新胞または耐 は収益七十億名(帰人を除く)の 然来学度士太郎の新聞をみるべく

元山 元山明 五十甲乃苯四五

新館の同じく五英四、東一銀行の 知さは新築家屋盆談に増加し府屋 四日を一新して来たか然に本中の 種物は児童へる程項新築によって る語の建築行連曲には一度を関す。てこの大道師の新築家屋をもつて 場際風、三中井支店。五萬<u>田、</u>國 一裏原則及び水月旅館等の大卵栗

初は「福州気だ」と問題を表せず

の人口を昭和四十年十一萬と類別の人口を昭和四十年十一萬と類別 **微範囲であり昭和九年末四萬四千** 地區内を含む地在の二倍場に置る樹二面に亘る城川江、瑚ず川路院 臨時事務所新設か

府廳增築が必要

常局では三年間に完成したい意向一の見込である

| 観を要する大事業でありこれを前 | 七日、「蜒くとも十八日に府際招集

地を選成する事業だけでも五百萬一提出方を要求してゐるので多分十 的北一番に原則整理を加へ建築业。日は祭日のため道常局で廿日まで 後にあり際及び飲道の移動とその。特定されてをり廿二月は日曜廿二

地球所質別に作び成門所職員、既たる土木事務は埋のためには富

道か記者しい過渡に反し都風を留

を初め一千五百餘戸に上つてゐる

安東と奉天を繋ぐ 氣通貫の新國道

めれまでに実化されて行きつうる。の水が飲めない敗感である、耐し、騎兵第二十七職総諸段の財地順即置か記載しい超越に反し翻談を留しから早くて三ヶ月独ければ公置・現地に戦術・漢智・「護国」 でから早くて三ヶ月迎ければ水道 現地戦衛・演習 「議園」 陸続たる国通歌明を脱げ上に登してある。他し 解兵第二十七儆総辞校の財地戦和 は海の歌音、郷の教が吹めない戦感である。他し 解兵第二十七儆総辞校の財地戦和 は海の歌音、郷の戦人物が、附近、子は上戦人がである。他し 解兵第二十七儆総辞校の財地戦和 は海の歌音、郷の戦人物が、附近、子は上戦人がであるのほを祈り、てこの大量加の着集業態をもつて 総常は片何戦略を終稿等の下に入日 関本製造の歌食を三星歌として事 度はお空並ごごは際に直接した、てこの大量加の着集業を強くてある有端で の象定

|単純に低でしかない原理・激戦・水 受けけを傾切った。はであり申込ん。である||二十中町の北部の塘布を場部をは、水不足の上水道引込べに去る九月。||薬も銭夜飛行で目の縁を作がして しいもので、これがため只でさへ一この蘇築界の隆船につれ各盟が工 貸家はなほる排底

増新築の激増にも拘らず

飛線が握られんとしてゐる

明太肝油加

勝起は家庭高に聞いてある情家人 比して戦利を成つてゐるのでこの

上大きな衝動を與へ発市的な

かりで小家庭や郷絹者にとつては住宅は滝と二十五風以上のものは

見自動車が

簡單で効果的な

疲勞解消法

能器の強起を促した、密集市内の 2に経療防に過度が指に置む音家

対応任み継く既に股側の不完全に

工場の事業

展異プ戚宿漁業組合聯合首の新

豆自動車を運輸して膝方面に同ふしンパッグ、一等は組合せ化肝品

途中南本町派出所前の四ク当でフー三等は特践宇宮はで等外全部にも 子は「離合しで話れつまが近り、一月末月取りである」というはは鎌倉市政は本

果的なことは十二分に實證

ん常を得た方法で、その効 ルによるマッサージが一ば す。それには、サロメチー がスポーツマンの活動認命 内に解消すること……これ その日の疲れは、その日の

され利用されて居ります。

を延長せしむる最大要素で

野島開催、盛頭であつた、たほか 二十四、注本方松、同金陽凊、三十四、高瀬敬禄、同金原敬、 い近名はこの経費の一部をそれど 愛婦支部協議貿

11一日午後一時から近縁部が発生し、「反興」 漫画が入館成男文部では

| 新春州|| 南海の道景報路として りナー日より安華南省土木郡長、| 道路棚修の工事を若干残してみる

目動車ならば牛日で走破

興隆滿洲國に重要路完成

を待たれてのた安東、奉天を「民威部陸路科長、電路線科長の下」が完成の順便安東、泰天間は自動

材本商組合長、鮫島市防紅頭南氏した正明男の男人都男子氏に正正 いた浪曲界の新人選升宝氏は三田寧て公演、曲の新境地を指導、登画・「意響」文章浪

|激増して参りました。即ち………

ロメチールが使用され、その需要

提等圏組合では気を假さしてゐるに十二萬トンしか述んだゐないの

湖津漁港

工事の概要

● 暴闘通りにかれて新業工処津自動車落成

平型一大同江名物の黒船は今月

憂鬱な浿江の船夫

長、野口上大郎氏ら立貞で同一が十日午後三時から稲僧著四

端豊沿線は

名物黑船の

船揚げを前に運搬激減の悲運

二周半・波状一個 五十鏡・一 面

東京・大阪田邊商店

(可謂物便鄉趙三第)





후-베리



恐ろしき淋病の微菌

、特製リベールの薬効を最も確實に識るにはその

ててふ。

、今迄尿道を侵しつゝあつに黴菌は服薬後忽ち勢

快感を覺りっ

力蓑へこの殺菌性尿に由つて體外へ洗ひ出され

、腸粘膜よりの吸收極めて速く服薬型朝尿は藍色

本

劑

0

に變じ强きリベール泉を放つて排出し此時已に

斯く淋菌は人體に樣々の害毒を與へる。

築の撰譯を誤るな

製に苦心研究したのは只此點のみであつた。由つ 視してはなられる て世に多くある机上一夜作りの處方蘂と斷然同 1 れて了つて後は何日連用するも更に容態に變化な 多くの場合四五日間の連用に依つて早くも蘂に慣 は元分に目的を達することは出來ぬ之等の斃削は 淋菌は單味の白檀油球やパルサム球等の内服位で く不相變自色粘液を分泌する。特製リベールの創

りベールが他の治淋薬に比し優秀なる點を海外各 迄驪進又驪進絕大の好評を増しつゝあり。 勿論遠く南米、北米、更に東西アフリカ等に至る 市場に於て認識され今や全滿、全支、南洋印度は

て淋瘍性膿漏眼に罹り瞬時にして取返しのつかね 症に陥る。又患者の不注意より淋菌が眼に這入つ 毒性膀胱炎を起し其他生殖機能に様々の障害を與 由つて發熱し更に黴菌は雜作なく膀胱内に達し淋 で刺す様に痛み而して尿道よりする毒素の吸收に が存在し旺盛なる繁殖力を以て尿道の奥深く侵入 黄色膿を旺んに排出する之の膿中には無數の淋菌 宮内膜炎、尿道炎等を惠ひ遂にヒステリー等の難 へる。若し婦人に傳染せんかその多くは淋毒性子 初尿道口より白色粘液様の膿汁を分泌し稍あつて 淋病は感染して凡そ一週間内にその症候顯はれ最 し淋毒性諸症を併發する。最初は尿道炎を起し錐

、婦人のりん病にも男子と同様の効めあり○ 對し顯著なる治療力を有す。

注意 到る處の薬店に販賣す。萬一品切の節は 局所療法をやつて見る。さうして黴菌を逆に臭 廣告等に惑はされ一度は手療治の尿道洗滌又は 自家尿道洗滌の危險、療法を職らぬ患者は新聞 中八九迄は・ たりして散 へ押込んで膀胱カタルを起したり睾丸炎に罹つ 決して 送料不要直に送薬す て他築を求めず本舗へ直接申込あれ 之れでやられる断然似まねばならぬ **々な目に遭つた後ウント後悔する十**

七五日二 日分 三圓 廿七日分 十三日分 十五回回

大阪市東區南久太郎町二丁目 藥劑師 製

內地海外到る處の樂店に販賣す 裝賣元 接著大腿三六 O 番 的 村 幸 次 郎

一、異國人種より傳染したる病毒は極めて猛毒性を

檢査を行ふのが最も早道で服薬後に日を追ふて 尿を採つて専門家に頼み顯微鏡に由つて黴菌の

黴菌の滅び行く現象を視る事が出來る。

有し頑固なるが故に在來の治淋藥にては寸効な

し、この場合特製リベールはこの猛毒性淋菌に

徒五名が帰宅の途、同面川得里

て近よれ山ので三町踊り縦でた酸(は夜辺の原行にも掘りす礼器を選りて水がを導べて引揚げたが)の如く部つた。 線力して水がを導べて引揚げたが、の如く部つた。 が観見収助せんとしたが氷が薄く一般船狭文丸で横渡入が開朝した第

(『言)のいひなづけ、京城青鉱町二 製品に大格路の後期はれた飲食店

したつた、雨の中を動質にひかれ 丁目幹問語氏の一人帰頭被さんご 数はんとした父親も溺死

は既成、十一日正年間に町で加山 式の結柄を窓出した、この娘さん

一位人から「四世」といる朝師古

半島スキー場

各校に分け收容

教科書は心配してやる

世界の舞台へ

高橋氏から紹介さる

のです立館つて下さい』と風呂

た競か高れ「評難者と肌れた」結構返対式を費ませた、頗さん、日朝入時頃血山署司法係へ盛」したものである、開設員で無言の

ばかり泣き明れた

の平省ひで結約返還、結婚解消を行つた上

**太下無領の珍式典……
留置場でいひなづけ嗣志が仲人や緊察官**

場で結納返還

純情の娘心は結婚解消の願ひ

能はすでに頃に包まれ手の腕して

焼したもので、最初理科学の く、一般の西方に扱かりつひ

原因の火災保護に入つてある 派仏公害は朝鮮火災保護資祉

でピックリ、かけつけると類科

ろ認められない

機綱線に依る酸火とは日下のとこ

製を生徒が理科学が火事だという

半城後さんを初めその長男李明必 ほか四名も既にことぎれてる大

質を指げ得たもので質録に関す。 じて得つてるます』 と並いた確認し、 で行く男の後から 「いつまでも信じだドイクにおける組織一数の」 て行く男の後から 「いつまでも信

さんであつたが、その夜野祭の取

大地震のは物学数金融の高級の合うのである。大地震のは物学が発展したアン、京都の大力がエラン、京都の大地震の大力を表現した日本ス

の全質料を送ることになった

弱納翁歸る

若者をしのぐ元氣

崔麟氏談

止めたい 中樞院柔議

能を重んじて先を譲りあふと言うことが、結局あとに様く人のふことが、結局あとに様く人のふことが、となるといふことも飲めていったが、といることも吹きに支険のないやうホームに入られたら目重して依しいものです

正式に発定されると思ふ ではしてければ、 いまい、この歌は組織選ば所でしています。

で伊摩前法主任が部法院兵並就を一をはじめ脱越や職権庁衛について、駆殺の火災配成については「総格等」火の無け解けず、引衛き野中代長

从城海松町海松公立四通

動はせしめ発明に努めてあるも怪一参考の調べを行つてある合のとこ

時四十分、概葉が謂んで選ばみの

理動物には曲法

原因はなは不明

の怪火

開盟に最いるためにも属り見てては全國環が翻読を用め世界の

とも

な生活政治論者であった、山田局

地より起う

すられるらしく、やはり必要以でありますが在來の個習に引き、「無理に割裂する機能下に申機し、故としても看住以來轉の逐連は

主張してゐる村上經理就長は誤る

分集局長四議の示達の中でも強く また十一日には銀内全員を招乗られます

まずが遊か効果的だらろと

煩雑避けて

ら建設以系

午前三時 蓬正高普校長 安鍾元氏談

のできな無駄な歌返回は是 題に於ける数数題、これはたい 主役人の方においでうです

鐵道用地一

千萬坪の買收

心がスピードな影響的を組織

た。

印度于百

Commo

この以口 大上上

大型日日金

的大七

券

いて各種の工事は一齊に着手さる

終方確の地面はガットと暗暗の姿勢で示して果たので事業上

「既を淑かさぬいう野城中であるか、さらに、鄭道一連

もつと簡素にありたいもの

山下旅團長夫人談

の中には大勝の万円 際地上島の龍動廠である機構、監長は工事は別年度から十五年度 **にかけて柳柳乾の大土壌を促進しることになり、藤庭局では明津** 語中央総・近言線・道・部線、東京北部総言の建設・成立ない、東京北部総書の建設・成立ないのは、建設・開発・変・なり、東京北部総書の建設・成立ない。

客達は大迷惑

見送り人で待合室を占領

改札口の虚禮婦人

死んだ象者や、お腹を悪くして死 に確し年老いて死んだお抜さん 後の時学から領険が合はなくて 動物慰靈祭 脚になったとせる等々動物造 象の曲藝 ライオン大蛇の食べものにな **運動物域では十四日の主** 十四日の動物園 歴史日本語の展開館が十二日か 画展は 裏都洋島 型の折に開かれ人気を呼んである 佐藤畵伯

趣に確邦がしませう。そして情報の遊析に對する配行に弱め します。午後六時甘五分作界週間配終日十三日は魯思認満日です。宮城を施拜し、祖 ら三時まで神此、寺欧、

氏の聴念がある。

は報恩感謝

0

送迎を實質化せー

めよるの言

京城敦化縣體驗合會加盟縣體は敷班に分れて午後一時か

送迎會の廢止を

信局は中合

川田局長は以前から主張

新瀬してゐる、年後一時半か

靡華島湖田の勝人賦で、十四日送 日間三陸和妥第三隅カれてある。際では、壁部を聞くことになっ H

作品と聞い、脚類を無ねて乗りて、近年三味に認道してえた物心の

国境技能手及び五零子の製造事假

側中の特面可接であつた

自動車を飛ば

経行で指摘の路急進した間島

恒野大尉の

近隣之前が天大尉の世 は十二

後二時十五分点成者、園三時

解決等で月回事のため質問した

強細説町別近で記述器へと思か コ釣り泥棒

最近京城が内に大かくりの影響

福倫

化學研究所

生活、改善台所の研究に森 ・ 一次の金別無水 ・ 一次の金別無水

京日本勧業 銀行構內

× 同町七五金を置(で)のこ人 記さ近んだ一味を取押へた、



全全合大主共主击支生生名充大在交流高兴完量

公公主英華馬曼美國東美麗美

情**从有所**都有情况后是不要要多多多一时

売の変の形式

あんま連中

子が一人で売つてゐるのを脱れ

京城二九七:電話水局四名的府南大門通一丁月二十八番地

外務職員招聘
・ 一大田 生命支部
・ 一大田 生命支部
・ 一大田 生命技術である。
・ 一大田 生命支部

● 指問水虫・股間いんさん

高を探し、どこから郷美用したある、釧路器では最初の火華が

自然發火か

南京"· 的號。町四五根皮里"" 朴温 。而經過一三 同語がフーロー 手遊びで御用 - 京城竹野

を浴せ郷の十二日年間、一時頃から 感で手探りの腰やかた散り方を つにハゴエイテンラシュタス 継貨、百割あつても一つ

特許最新型

●顔・手

足のア

V

ムズカユキ皮 魔病 東京師田花房町 山 飯管 倒雲 東京師田花房町 山 飯管 側雲 東京町田花房町 地 三 町 東京町田花房町 地 三 町 東京町田花房町 地 三 町 東京町田花房町 地 三 町 東京町田花房町 山 飯管 側雲

の毎鮮人男が顕落、団死、身許不明、孫栄明交番裏の下水に五十五歳は一年二月午後五時頃京城

聲涙下る校長 兒童の安全を喜ぶ 語松校舎は嫌けてしまひました皆さんが今日迄通ひなれた戦

野る麻煙を望んで流気(なから

一名は同校鑑け返りの課堂を修練。千昧の記載と教養或を練めて午後。 で語はしばし終切れた、耐く迫つ一名は同校鑑け返りの課堂を修練。千昧の記載と教養或を練めて午後。 で語はしばし終切れた、耐く迫つ

歌却一周をはじめ周が難り勝勝(五和、勝掛無は 府内会初 整原校か教育派は柳本京城府爆研総会以下、曾編から撮め間 に合せると共に連絡企立部通際技術総に對する語 各語校から都合して概念外発(的)

リュピック大震の開催と前にして | 写上更行道具その他の政務を求め | 微質協議の結本生徒は十三日頃か 日本の憧れの的となつてゐる生命。スキー地の総介をすることになり スキー基が深る原原オ | 十二日鑑選局に半島古来のスキー **徳彦西瀬県安に四県総二百九十四** ら河東西湖県安に大学。8四日で名 五名を収容、整る五典語三百四十 名。校嗣整通学校上三学校二百十

されるとになった、この話は非多しタが数のため同氏に半島スキー ドイフからの題語で大人にに紹介して来た、総直局では冬季オリムビ

た巨蘇點の中、朝鮮風景州市

府門並兵を加州市で開発部で加大十三月子後、時から第二級前部間 打合せと設門を翻手る

岩に近りでに至一にて周辺十島的特金は市場の単世の構造

女中が現代に対して、英雄などの方は用大門上

第 記 共流市 炎子科人學園

女中、江田山泉上り世八巻田を存金の方は南大門上天樹近崎の一大田山の一上天樹近崎

中で効果 高 女 環な学院が通りに 10円11 を 10円12 を 10

※ 京日案内

今日の天氣

唯一

天下 _ _ _ _

發 胚 搗 部 水 倍 齢 彩 芽 好 倍 施 瀬 店 加 東東農 調隆 京京林 遛海

遊 用 御 元費整造製

の社 清 水 高 會 東京市神田區近年町三 東京市神田區近年町三

îLQ. 明 品品

町一下目 泰明商會京城出張的 三語大編

精米機 代理店

市府省省軍

いのよ。あなたのお父さまは梅本 人を愛してると皆自なすつたら好一てまたお遊びにいらつしやいた。 かつて見たくなるにどだつた。 あたしが好い智能を貸して売上げ ごんなお話はこしませうよ。極 解除に蘇絡が出て来た。 ゆしかい 相手がむぎになると晶枝は急に 「ほんとに、あなたは概率さんが 『それがあなたの怖れていつ とがやないの?」 美しき日は野から二階の麾下にお 伊葵 AKアンサンプル 十後零時五分(東)諸語・鲍のし、独雄神聖 駒組の頂點に立つて 元富山縣豊事試験単茂師 一元富山縣豊事試験単茂師 十三日番組 兵 一當 流代 (金曜日) 放送 争朝血 女房に彼を催むします。「江事も 周六時五五分(東)カレントトピ の四・終) グレン・ショト 同六時二五分(大)茂語馨怪(凡 ニユース・天気見込・駿 (23)は 同人時三〇分 等液 中間音 同人時 単数 (八) 金田語 関八時 単数 中間音 日 同八時 単数 中間音 日 同八時 単数 中間音 が出来ると思ひ、六八百ぎでの様右翼より徐ろに攻勢を採るこれ方の後官がないやうにしてお来する機関がないやうにしておいる。 個く陥つて、敵 及泉の前でやうと考へましたが、 大小歩と飛光まを関つても大五歩と 八六歩と飛光まを関つても大五歩と の遊遊があるから整種度をより二 み 度持つて行って今度は二回費って 五三 徳山正男作 でしましたストラ 同七時三〇分(東)郷遊劇 同七時三〇分(東)郷遊劇 語をすると無菌は、鮑のしの芽田 十四日心、物 自然の目になくでいるな --午後八時四〇分 着も一人般の更けて腱る身で、やかな、)膜の欝の蘇雎、かさねこ後 質疑して本分に根拠し、息励の英日を至しくして主就思謝を奉出し ズのブラームスの管絃樂曲は二つ 中その主たる皇恩の漢大深遠なる 「午後七時三十分」先ず一般思想 ハ短調ニ長調の二つの交響曲の 日本放送交響樂團 大學是、大學艺、 佐枝養重 **医嶋合汽船艇出机** 大阪商船に出帆 代理店 九州郵船麓出張所 行香港小浦 "日午後行 答照一小将七時 野口商 第一後橋 一緒出帆廣告 同でられません! 言會 しい黒髪は 経過進出就代理店頭群遊進出遊所 日本海丸 十二月五 日 頸 海 丸 十二月十八日 [[]]田朝代理店日前建址集成會址 日本海丸 十二月七 日 明石 丸 十一月十二日 明石 丸 十一月廿八日 一一一一日 日 日 一一一日 日 日 四 海 丸 十一月廿八日 きの早い 絶撃安心の花王シヤ手軽に洗へ おち・ゆすぎ・乾 ンプーでさつばりお洗ひ下さい th 月五日 十 月五日 十 月五日 十 月五日 國際運輸支店 一百事出版 代理店 國際運輸支店 船歩汽車が酒のか 御辞述の支持 服用後の不快なる中毒作用をも へ見マンは鎮照、 被疲の南作用 安全なる良潮です 番心配な心臓を保護する特性ある故、たん咳は勿論なには んぎ はる 安全藥効を誇る新劑! 痰を祛り、 咳を止め、 Pin A C C 氣管支炎等に擴 呼吸を樂にし **刑管支炎**に なく、 強く、 が備品 く慣用されます ありやこそ心配なした 、而も信水樂ご異り、而も信水樂ご異り .4 → 分回ーらな髪本日 分回二らな方女少・受洋 錢五·個 大他一般たんせき 東部有の環、電響 東部有の環、電響 東部有の環、電響 第一五十四三十四 各地聚店にあり 東京電氣樣式會社 元贤歌 景 房 藥 會 商 平 丹 首 阪大・會商瀨長社會式株鹼石王花・京東/